

「共働推進に関する実態調査」 - 1次調査結果概要 -

1. 調査の概要

目的

P D C Aのマネジメントサイクルのうち、P D Cの各段階における、多様かつ効果的な共働事例（共働相手・手法等）の収集

注：本調査におけるP D C Aのマネジメントサイクルとは

Plan	政策・施策・事務事業の目的と効果を明らかにする
Do	施策・事務事業に取り組む
Check	実施後、評価を行う
Action	次の施策・事業の立案に生かす

出典：「改訂 第2次行政経営戦略プラン」

調査対象

平成19年度実施予定事業のうち、事業目的の達成上、市単独による事業執行に比べ、共働による事業執行の方が効果の得られる事業

共働相手が企業の場合、企業にとって直接的に営利を目的とする事業である場合は、調査の対象としません。

注：本調査の対象とする「効果的な共働事業」の考え方

- ・「共働事業」とは、「市民と行政が関わりを持って取り組む」こととし、
- ・『「市民との関わり」が事業効果を高める』と、所管課が考える事例を調査対象としました。
- ・本調査において、事業効果は、下記の5点の視点で検証するものとしました。
 1. 共働実施の効果 > 市単独実施の効果
事業目的と照らし合わせ、市単独で実施するよりも効果が上がるか。
 2. （相手側に、共働実施に対する）ニーズがあるか。（関わる市民の主体性・意欲）
 3. 相手の特長、持ち味を活かせるか。
 4. 採用する「手法」は適切であるか。
 5. メリット > デメリット（費用、時間など）
共働実施のデメリットを考慮してもメリットを感じることができるか。

調査実施時期

平成19年7月4日（水）～7月27日（金）

2. 調査の結果

事業数 合計 190事業

部局別・所属別の内訳は、「4. 参考資料」を参照。

結果の集計にあたって

本調査では、P D Cの各段階の一連の流れを「事業」と捉えました。

全190事業のうち、21事業は、(直接的な)実施段階を持たない政策等の形成過程・評価段階における取り組み（例：計画策定・審議会・モニター等）に分類し、残り169事業を詳細な分析の対象としました。

3 . 結果の分析・所感

共働相手の種別

	事業数	構成比
地縁系組織	81	38.9%
所管法人・団体	41	19.7%
その他の市民活動団体	26	12.5%
市民	23	11.1%
関係法人・団体	19	9.1%
特定非営利活動法人	9	4.3%
民間企業	9	4.3%

本調査中、「市民」とは、「市民個人」を想定した。

1事業で複数の共働相手と関わる事業もあるため、合計は事業総数と合致しない。

- ・地縁系組織や所管法人・団体との共働による取り組みが多いです。
- ・ただし、特定非営利活動法人（NPO法人）や、その他の市民活動団体、加えて、企業との共働による取り組みも見られ、今後の展開が期待されます。

P D C A のマネジメントサイクルの段階ごとの共働手法

P段階に共働手法を取り入れている事業	109 (64.5%)
D段階に共働手法を取り入れている事業	158 (93.5%)
C段階に共働手法を取り入れている事業	70 (41.4%)
	全169事業中

- ・共働手法を活用する段階としては、D段階での積極的な推進の状況に比べ、C段階での共働手法の活用が少ないのが現状です。
本調査では、平成19年度を調査対象年度としているため、18年度以前に実施済み、もしくは平成20年度以降に予定する手法は把握できていません。
- ・本調査では、65事業/全169事業（4割弱）の事業で、PLAN・DO・CHECKの全段階を通して、何らかの共働の手法を採用していることが確認できました。
共働の効果を高めるためには、P D C A のマネジメントサイクル（PLAN・DO・CHECK・ACTION）を通じた共働のプロセスが大切です。

PLAN段階の手法別

	事業数	構成比
検討委員会	36	25.4%
企画提案	36	25.4%
ワークショップ	21	14.8%
住民説明会	14	9.9%
アンケート	7	4.9%
地区懇談会	4	2.8%
ヒアリング調査	3	2.1%
パブリックコメント	2	1.4%
審議会	2	1.4%
その他	17	12.0%

1事業で複数の共働手法を取り入れた事業もあるため、合計は事業総数と合致しない。

- ・多様な手法が活用されています。
- ・検討委員会、企画提案、ワークショップなど、市民の生の声を直接的に取り入れようとする手法が多く見られます。
- ・PLANの段階では、1つの事業にあたり、複数の手法を合わせて活用する（例：アンケート調査、ワークショップと検討委員会）など、多様な市民参画の機会を設けた事業が多く見られました。

DO段階の手法別

	事業数	構成比
補助金・負担金・助成	41	22.0%
委託	37	19.9%
ボランティア	29	15.6%
実行委員会	23	12.4%
共催・協賛	22	11.8%
指定管理	9	4.8%
その他	25	13.4%

1事業で複数の共働手法を取り入れた事業もあるため、合計は事業総数と合致しない。

- ・多様な手法が活用されています。
- ・実行委員会、共催など、市民と行政が、双方主体的に、より対等な立場で共働しようとする取り組みも多く見られます。

CHECK段階の手法別

	事業数	構成比
満足度調査	33	42.9%
事業評価会議	16	20.8%
市民モニター	1	1.3%
その他	27	35.1%

1事業で複数の共働手法を取り入れた事業もあるため、合計は事業総数と合致しない。

ない。

- ・満足度調査（33事業）や事業評価会議（16事業）などが実施されていますが、十分に浸透しているとは言えない現状です。

4 . 参考資料

所属・部局別 集計

部局	所属	所属別	部門計
総合企画部			1
	秘書課	1	
総務部			0
市民部			1
	市民相談課	1	
社会部	自治振興課	1 5	8 3
	交通安全課	2	
	旭支所	3	
	足助支所	7	
	小原支所	1	
	猿投支所	1	
	下山支所	2	
	高橋支所	1	
	藤岡支所	7	
	生涯学習課	2 7	
	とよた市民活動センター	2	
	男女共同参画センター	1 0	
	防災防犯課	3	
	子ども部		
次世代育成課		2	
子ども家庭課		3	
保育課		1	
環境部			1 0
	環境政策課	1 0	
福祉保健部			1 0
	(福)総務課	2	
	高齢福祉課	2	
	障がい福祉課	2	
	保健衛生課	1	
	健康増進課	1	
	感染症予防課	2	
産業部			2 1
	産業労政課	3	
	商業観光課	1 0	
	農政課	3	
	農地整備課	2	
	森林課	3	
都市整備部			1 0
	都市計画課	2	
	交通政策課	6	
	都市再開発課	2	

建設部	道路維持課	3	8
	河川課	2	
	公園課	3	
上下水道局	水道総務課	4	10
	水道整備課	1	
	下水道管理課	3	
	下水道建設課	2	
教育委員会	学校教育課	3	25
	青少年相談センター	1	
	保健給食課	1	
	文化振興課	4	
	文化財課	6	
	スポーツ課	3	
	図書館	4	
	美術館	3	
消防本部	(消)庶務課	2	5
	警防救急課	1	
	予防課	2	
合計			190

実施段階を伴う事業における取り組み（169事業）

- ・市民との共働による事業効果を高めるためには、企画・実施・評価の段階ごとに、ふさわしい相手と手法を選択し、活用することが大切です。
- ・各事業において活用する手法を、共働の相手と段階ごとに整理しました。

所属コード	部局名	所属名	NO	事業名	事業目的	事業概要	事業期間		共働相手		共働相手の特長・持ち味 (相手に期待する効果・役割)	共働の段階と手法		
							新規 継続	終了 年度	共働相手の種 別	団体・法人名 (共働相手が団体・法人の場 合)		P	D	C
AA01	総合企画部	秘書課	1	デトロイト市交換学生受入事業	姉妹都市デトロイト市と豊田市の青少年の相互理解と友好親善を深めるとともに、国際的視野を持った市民の育成を図る。	姉妹都市デトロイト市から来豊する学生等の受入。市民参画型の交流事業や視察等の企画立案・運営・実施により、来訪者をもてなす。《隔年実施》 (平成18年度「第20回」実績) 平成19年7月19日～8月2日に11名を受入。	新規		所管法人・団体	(財) 豊田市国際交流協会	国際交流に必要な専門知識や技術、経験を有していること、協会に登録している市民団体を活用できることにより、事業の活性化が期待できる。	企画提案	委託	
AC01	市民部	市民相談課	2	人権啓発街頭活動	市民に人権問題の重要性を認識してもらい、人権意識を育んでもらうこと。	人権啓発グッズを作成し、各種イベント時に配布。	継続		所管法人・団体	豊田人権擁護委員協議会豊田市区委員会	人権に関する各種研修を受け知識が豊富なため、市民への直接的な人権意識の啓発活動が可能。	その他	共催・協賛	その他
AD01	社会部	自治振興課	3	外国人青少年学習支援事業	外国人青少年の健全育成の支援	外国人児童生徒・青少年を対象とした ・日本社会への適応ケア ・日本語指導 ・学習支援 ・自立支援	継続		特定非営利活動法人	子どもの国	事業実施に必要な専門性	企画提案	委託	
AD01	社会部	自治振興課	4	外国人不就学児童生徒サポート事業	外国人青少年の健全育成の支援	不就学の外国人児童生徒・青少年を対象とした ・日本社会への適応ケア ・日本語指導 ・学習支援	継続		特定非営利活動法人	トルシーダ	事業実施に必要な専門性	企画提案	委託	
AD01	社会部	自治振興課	5	外国人に対する地域活動参加促進事業	外国籍住民の地域活動への積極的な参加、地域社会の一員としての自覚を促す	外国人を対象とした ・日本語教室 ・外国人集住地域のネットワークづくり	継続		特定非営利活動法人	保見ヶ丘国際交流センター	事業実施に必要な専門性	企画提案	委託	
AD01	社会部	自治振興課	6	愛・地球博を生かした草の根国際交流推進事業	愛・地球博を生かした草の根の国際交流の継続、推進	・草の根の国際交流事業の開催 ・とよた国際交流市民会議の開催	継続		所管法人・団体	(財) 豊田市国際交流協会	・事業実施に必要な専門性 ・実施に十分な活動場所を持っている。	企画提案	委託	事業評価会議

所属コード	部局名	所属名	NO	事業名	事業目的	事業概要	事業期間		共働相手		共働相手の特長・持ち味 (相手に期待する効果・役割)	共働の段階と手法		
							新規 継続	終了 年度	共働相手の種 別	団体・法人名 (共働相手が団体・法人の場 合)		P	D	C
AD01	社会部	自治振興課	7	国際化推進事業	国際交流、国際理解教育、多文化共生の推進	<ul style="list-style-type: none"> 日本語教室 休日相談所開設 ボランティア養成 国際理解教育 外国文化の紹介……等 	継続		所管法人・団体	(財) 豊田市国際交流協会	・事業実施に必要な専門性	企画提案	委託	事業評価 会議
AD01	社会部	自治振興課	8	日本語学習支援システムの構築	地域社会でのコミュニケーションに最低限必要な日本語学習の促進を図る	<p>外国人の日本語レベルの評価・判断基準、学習内容、学習方法等を含むガイドラインを作成し、実際の学習の場の運営までを含む日本語学習支援システムを構築し、運営する。</p> <p>※検討委員会→実行委員会→事業評価会議の役割を、「多文化共生推進協議会 日本語学習支援専門部会」が担当。</p>	新規		特定非営利活動法人	多文化共生に取り組む団体 外国人学校	・事業実施に必要な専門性 ・多くのボランティアとのネットワークがある。	検討委員会	実行委員会	満足度調査
												ヒアリング調査	ボランティア	事業評価 会議
									地縁系組織	自治区	・多くの事業対象者との関係が深い。	検討委員会	実行委員会	満足度調査
												ヒアリング調査	その他	事業評価 会議
									民間企業	多くの外国人従業員を雇用する企業 外国人学校	・実施に必要な活動場所を持っている。 ・多くの事業対象者が所属している（関係が深い）。	検討委員会	実行委員会	満足度調査
												ヒアリング調査	ボランティア	事業評価 会議
									所管法人・団体	(財) 豊田市国際交流協会	・実施に必要な活動場所を持っている。 ・多くの事業対象者が所属している（関係が深い）。 ・多くのボランティアとのネットワークがある。	検討委員会	委託	満足度調査
												ヒアリング調査	ボランティア	事業評価 会議
									関係法人・団体	商工会議所 職業安定所 外国人学校	・事業を実施する上で必要な情報を持っている。 ・実施に必要な活動場所を持っている。 ・多くの事業対象者が所属している（関係が深い）。	検討委員会	実行委員会	満足度調査
												ヒアリング調査	その他	事業評価 会議
									関係法人・団体	大学	・事業実施に必要な専門性	検討委員会	委託	事業評価 会議
												企画提案		

所属コード	部局名	所属名	NO	事業名	事業目的	事業概要	事業期間		共働相手		共働相手の特長・持ち味 (相手に期待する効果・役割)	共働の段階と手法		
							新規継続	終了年度	共働相手の種別	団体・法人名 (共働相手が団体・法人の場合)		P	D	C
AD01	社会部	自治振興課	9	わくわく事業 【全ての支所でも実施】	地域の知恵や工夫が最大限に生かせ、地域住民が「自ら考え、自ら実践する」ことを信条に、個性豊かで活力ある住みよい、地域社会を構築することを目的とする。	活動支援のための補助制度 (補助要綱は自治振興課で策定。審査基準は地域会議ごとに定める。地域会議ごとに500万円の予算。)	継続		その他の市民活動団体	※特定非営利活動法人、地縁系団体を含む	地域課題の解決などのため地域の自己決定、自己責任の考え方で事業決定し、地域の知恵と汗が事業コストを下げるとともに効果を増幅させる。	その他	補助金・負担金・助成	その他
AD01	社会部	自治振興課	10	地域振興事務交付金 【全ての支所でも実施】	住みよい生活環境づくりと、自治区コミュニティにおける地域課題を解決する取り組みを推進する。	自治区が行う公共的事業及び市政への協力事務並びに地域課題解決への取り組みに対し、全自治区に交付	継続		地縁系組織	全自治区	公益性を持った事業や活動を展開し、助け合いに満ちた住みよい地域(コミュニティ)づくりを目指す、地縁組織で繋がりをもった住民の自主的な任意団体		補助金・負担金・助成	
AD01	社会部	自治振興課	11	自治区活動備品整備費補助金 【全ての支所でも実施】	自治区コミュニティ活動の推進	自治区が行う備品購入などにかかる経費に対する補助	継続		地縁系組織	全自治区	公益性を持った事業や活動を展開し、助け合いに満ちた住みよい地域(コミュニティ)づくりを目指す、地縁組織で繋がりをもった住民の自主的な任意団体		補助金・負担金・助成	
AD01	社会部	自治振興課	12	自治区防犯灯設置費補助金 【全ての支所でも実施】	夜間における地域の歩行者の安全を確保する	自治区が行う防犯灯の整備に対する補助	継続		地縁系組織	全自治区	公益性を持った事業や活動を展開し、助け合いに満ちた住みよい地域(コミュニティ)づくりを目指す、地縁組織で繋がりをもった住民の自主的な任意団体		補助金・負担金・助成	
AD01	社会部	自治振興課	13	自治区放送施設等整備費補助金 【全ての支所でも実施】	自治区コミュニティ活動の推進	自治区が行う放送施設の整備に対する補助	継続		地縁系組織	全自治区	公益性を持った事業や活動を展開し、助け合いに満ちた住みよい地域(コミュニティ)づくりを目指す、地縁組織で繋がりをもった住民の自主的な任意団体		補助金・負担金・助成	
AD01	社会部	自治振興課	14	地域集会施設整備費補助金 【全ての支所でも実施】	自治区コミュニティ活動の推進	自治区が行う集会施設整備に対する補助	継続		地縁系組織	全自治区	公益性を持った事業や活動を展開し、助け合いに満ちた住みよい地域(コミュニティ)づくりを目指す、地縁組織で繋がりをもった住民の自主的な任意団体		補助金・負担金・助成	
AD01	社会部	自治振興課	15	自主防災組織運営費補助金 【全ての支所でも実施】	自主防災会の育成支援	自主防災会が行う施設・防災マップ・資機材整備に対する補助	継続		地縁系組織	全自治区	公益性を持った事業や活動を展開し、助け合いに満ちた住みよい地域(コミュニティ)づくりを目指す、地縁組織で繋がりをもった住民の自主的な任意団体		補助金・負担金・助成	

所属コード	部局名	所属名	NO	事業名	事業目的	事業概要	事業期間		共働相手		共働相手の特長・持ち味 (相手に期待する効果・役割)	共働の段階と手法		
							新規 継続	終了 年度	共働相手の種 別	団体・法人名 (共働相手が団体・法人の場 合)		P	D	C
AD01	社会部	自治振興課	16	地域コミュニティ推進交付金	地区コミュニティにおける地域課題を解決し、ふれあい豊かで住みよい地域社会を築く取り組みを推進するため。	地区コミュニティ会議等が実施する地区コミュニティの推進事業に対して補助金を交付。	継続		地縁系組織	全地区コミュニティ会議	自治区が自治区コミュニティ活動を実施していく上で発生する問題点、課題について解決に向けての検討、学習をする場、効果のある事業を実施するための情報交換の場として位置づけ。		補助金・負担金・助成	
AD01	社会部	自治振興課	17	市民の誓い制定30周年記念事業	市民の誓い制定30周年を契機とした市民活動の促進	市民の誓い制定30周年記念事業の開催 開催日：平成20年3月1日(土) 会場：豊田市総合体育館	新規	19	所管法人・団体	豊田市民の誓い推進協議会会員	・地縁型団体と、テーマ型市民活動団体の交流促進 ・実践活動の促進	検討委員会	実行委員会	満足度調査
									その他の市民活動団体	わくわく事業実施団体 市民活動センター登録団体等 ※特定非営利活動法人、地縁系団体を含む		・地縁型団体と、テーマ型市民活動団体の交流促進 ・実践活動の促進		その他
AD02	社会部	交通安全課	18	市交通安全市民会議事業	人命尊重の理念のもとに、安全、円滑かつ快適な交通社会の実現をめざして、交通事故の撲滅を図る。	・年4回の運動期間中の啓発活動 ・交通安全フェア、市民大会の開催 ・年間を通しての啓発活動及び自治区等の啓発活動及び支援等	継続		所管法人・団体	豊田市交通安全市民会議 ・地縁系組織 ・その他の市民活動団体 ・所管法人・団体 ・関係法人・団体	市民会議は全市的、統一的な交通安全運動方針を定め、その方針のもとに加盟団体(自治区、学校、事業所等)がそれぞれの立場で運動を推進することによって、市民の交通事故防止が図られる。	検討委員会	補助金・負担金・助成	
AD02	社会部	交通安全課	19	地域交通安全対策検討委託事業	地域内交通事故データの分析調査を行い、ヒヤリハットマップを作成し、地域で取組む交通安全対策を展開する。	・交通事故データを利用して、地域内の事故データを整理分析し、ヒヤリハットマップ作成時及び地域交通安全対策の検討時の資料として調査・整理する。 ・地域と共働でヒヤリハットマップワークショップを開催し、住民アンケート等を行い地域の交通危険箇所を把握し、ヒヤリハットマップを作成。	継続	19	地縁系組織	自治区	地域内交通事故データの分析調査を行い、地域と共働でワークショップを開催し、住民アンケート等を行い地域の交通危険箇所をまとめたヒヤリハットマップを作成し、地域で取組む交通安全対策を展開する。	ワークショップ		
									所管法人・団体	(財)豊田都市交通研究所		ワークショップ	委託	
AD06	社会部	旭支所	20	旭地域バス運行事業	交通空白地域における住民の交通手段の確保	中学校スクールバスを利用した地域バスの運行。4路線、週1日3回運行。	新規		地縁系組織	自治区 地域バスを動かそまい会	バス停の位置決定・設置 利用促進PR	検討委員会	ボランティア	事業評価 会議

所属コード	部局名	所属名	NO	事業名	事業目的	事業概要	事業期間		共働相手		共働相手の特長・持ち味 (相手に期待する効果・役割)	共働の段階と手法								
							新規 継続	終了 年度	共働相手の種 別	団体・法人名 (共働相手が団体・法人の場 合)		P	D	C						
AD06	社会部	旭支所	21	ハナノキ回廊整備事業	国の天然記念物に指定される自生ハナノキの保護及び湿原を回復させるとともに、愛知高原国定公園に訪れる観光客が旭高原の自然を鑑賞し、癒しと学びを満喫できるように散策路等の整備を行う。	ハナノキ周辺に木製の回廊を備え、ベンチも設置し森林浴も可能な休憩スペースを設ける。設置の方法は、市民参加を集い、市民共働のもとに回廊の設置を行う。	新規		その他の市民活動団体	木づかい市民ネット	博覧会を生かしたまちづくり事業（あっと！ほーむタウンとよたプラン）の中で市民の製作したベンチを博覧会会場内に設置しようという試みを実践する過程において、ボランティア団体として組織された団体。ベンチの製作を依頼。	企画提案	ボラン ティア	満足度調 査						
								市民	公募による （「木づかいネット」が公募）											
AD07	社会部	足助支所	22	三河の山里ツーリズム 《足助地区》	三河山間地域の有する自然、文化、伝統等の魅力を都市を始めとした他地域の人々に紹介し、この地域に対する関心を喚起し地域の活性化に資する交流居住の促進を図るほか、地域が抱える問題への認識・理解を高める。	都市住民を受け入れ、裏山散策や工作などを行い、山里体験をする。 ※足助支所としては、19年度の み。市としてはそれ以降も継続。 主管課は企画課。	継続	19	地縁系組織	新盛自治区		企画提案	共催・協 賛	満足度調 査						
AD07	社会部	足助支所	23	里山耕流塾	都市住民が里山のありのままの暮らしを地域住民との共同作業をと おして里山（足助）のよさを体感 し、足助ファンの増加を目指す。	地域の行事やイベントに都市住民 に参加してもらう	継続		地縁系組織	8月19日野林自治会		企画提案	共催・協 賛	満足度調 査						
AD07	社会部	足助支所	24	通行支障木伐採事業	地区の地域課題の解決のため、地 域会議が提言した事業	・通行支障木など、地元だけでは 伐採が難しい箇所について、地元 の申込みにより、地元と行政とが 共働して整備をする。	継続		地縁系組織	自治区 自治会		その他	その他	その他						
AD07	社会部	足助支所	25	河川環境整備事業	地区の地域課題の解決のため、地 域会議が提言した事業	・河川を覆う木など、地元だけで は伐採が難しい箇所について、地 元の申込みにより、地元と行政と が共働して整備をする。	継続		地縁系組織	自治区 自治会		その他	その他	その他						
AD07	社会部	足助支所	26	歴史伝統文化保存事業	地区の地域課題の解決のため、地 域会議が提言した事業	・集落史を作成する自治区・自治 会に対して印刷製本費の一部と作 成に対するアドバイザー費を支援	継続		地縁系組織	自治区 自治会		その他	その他	その他						

所属コード	部局名	所属名	NO	事業名	事業目的	事業概要	事業期間		共働相手		共働相手の特長・持ち味 (相手に期待する効果・役割)	共働の段階と手法		
							新規 継続	終了 年度	共働相手の種 別	団体・法人名 (共働相手が団体・法人の場 合)		P	D	C
AD07	社会部	足助支所	27	足助まちづくり交付金事業	地域核として日常生活基盤を整えることにより高齢者をはじめ若い世代にも住みやすい環境を整備するとともに、全国的に有名な香嵐溪、歴史・文化的な町並みなどの地域資源を保存活用することにより、観光交流を促進し、地域機能の維持・保全を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史的な町並みの保存と周辺景観の保全 ・安全な歩行者空間の確保と動線の強化 ・生活基盤整備による住みよいまちづくり ・災害に強いまちづくり 	継続		地縁系組織	足助まちづくり推進協議会 <ul style="list-style-type: none"> ・学識経験者 ・地元関係者 ・地元自治区 		検討委員会	実行委員会	その他
AD11	社会部	猿投支所	28	地域振興調査事業	地域会議の提言による地域課題対応の各種調査	<ul style="list-style-type: none"> ・コンサルの知恵を借りつつ、地元住民と一緒に名鉄三河線跡地活用のための基本調査をする。 	新規	19	地縁系組織	井郷区長会 石野区長会 猿投台区長会 夢ロード創造会議	地域住民がこぞって市民活動に取り組んでいる。	ワークショップ	ボランティア	その他
AD11	社会部	猿投支所	29	地域活動推進事業	地域会議の提言による地域課題対応等の地域特有の各種事業を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ①生活の支障となっている竹木を、地域において伐採した場合に伐採作業後の処理を専門業者に依頼する。 ②三河線跡地にある旧駅舎を地域で保全管理する場合に必要な電気料、水道料の一部を負担する。 	新規		地縁系組織	①自治区 ②夢ロード創造会議	地域住民がこぞって市民活動に取り組んでいる。	企画提案	補助金・負担金・助成	その他
AD12	社会部	下山支所	30	廃校跡地利活用による都市と農山村の交流拡大等	統合により廃校となった4校の跡地を活用し、都市部と農山村部の交流推進とともに、地域のふれあい・交流・生きがい活動の促進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 廃校のたたずまいとそれを取巻く自然環境を生かした跡地利活用計画の策定、及び運営主体・住民参画の仕組みづくりに関する検討を行う。 ※農ライフ創生センターとも協力 	新規		所管法人・団体	地元検討委員会 榊香恋の里	<ul style="list-style-type: none"> ・利活用計画から運営まで地元住民が加わることにより、自分達も参画して地域の活性化や自らのふれあい・生きがいづくりを進めていこうとの意識を醸成できる。 ・経営能力や集客・体験・交流を通じた運営による相乗効果が期待できる。 	ヒアリング調査	共催・協賛	満足度調査
AD14	社会部	高橋支所	31	高橋コミュニティセンター管理業務	高橋コミュニティセンター・加茂川公園の円滑な管理及び運営を行う。	高橋コミュニティセンター・加茂川公園の適正な維持管理を行う。	継続		地縁系組織	加茂川愛護会	美化活動を中心とした市民活動団体	企画提案	その他	その他
AD15	社会部	藤岡支所	32	はつらつ藤岡21推進ウォーキング事業	地域住民一人ひとりが自ら健康づくりの動機づけと実践を支援するため、手軽で安全かつ有効なウォーキングを奨励し、健康で生き生きできる地域社会の実現を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ウォーキングコースの案内作成により全戸回覧 ホームページの記載 各関係への掲示 看板設置、コースルート整備 	継続		地縁系組織	藤岡地区コミュニティ会議（健康部会）	藤岡地区コミュニティ会議（健康部会）を事務局として、区長、関係者を巻き込むことで、参加者の増加 参加者に応じたコース設定	検討委員会	実行委員会	
								市民	はつらつ藤岡21推進ウォーキング推進委員	藤岡地区コミュニティ会議（健康部会）を事務局として、区長、関係者を巻き込むことで、参加者の増加 参加者に応じたコース設定	検討委員会	実行委員会		

所属コード	部局名	所属名	NO	事業名	事業目的	事業概要	事業期間		共働相手		共働相手の特長・持ち味 (相手に期待する効果・役割)	共働の段階と手法		
							新規継続	終了年度	共働相手の種別	団体・法人名 (共働相手が団体・法人の場合)		P	D	C
AD17	社会部	生涯学習課	40	逢妻交流館建設事業	建物の老朽化・弱者対策、駐車場不足などの理由により移転新築を行い、市民が安全かつ快適に利用できる施設整備を行う。	建設予定場所： 田町3丁目地内 総整備予定面積：約7,500㎡ 建物延床予定面積：1,500㎡ 外構： 駐車場、駐輪場、多目的広場	継続	21	地縁系組織	逢妻交流館建設委員会	地域の拠点施設として、地域住民が建設に関わることで地域が使いやすく利用しやすい施設とする。 ・移転新築場所の提案、地元調整 ・建築設計案等に関する意見、要望の集約	検討委員会		
AD17	社会部	生涯学習課	41	生涯学習フェスティバル	交流館における学習成果の発表の場、地域住民の交流の場、学習へのきっかけづくりの場とする。	各地区ごとにコミュニティ会議、自主グループ等々の代表者で実行委員会を設置し、市費負担金等により実施する。	継続		所管法人・団体	実行委員会 ・地縁系組織 ・市民活動団体 ・交流館利用者 ・学校、幼保 ・民間企業	地域住民の主体性による実施により、 ・交流の促進 ・交流館利用の促進 ・生涯学習活動の発表機会につながる。	検討委員会	補助金・負担金・助成	事業評価会議
AD17	社会部	生涯学習課	42	16交流館管理運営委託	旧市内（併設館（井郷、石野、上郷、松平）と合併町村（旭、足助、小原、下山、藤岡）を除く）16単独交流館の管理・運営委託。	(財)豊田市文化振興財団と指定管理に伴う管理運営等に関する協定を締結し、旧市内16単独交流館の管理及び運営を行う。 ・施設維持管理業務 ・交流館事業の企画・運営	継続		所管法人・団体	(財)豊田市文化振興財団	・施設の適正な管理・運営 ・地域ニーズに応じた交流館講座・事業の企画・運営 ・人・地域・生きがいがづくり活動の支援・促進		指定管理	
AD17	社会部	生涯学習課	43	16交流館諸営繕工事	旧市内（併設館（井郷、石野、上郷、松平）と合併町村（旭、足助、小原、下山、藤岡）を除く）16単独交流館を安全・快適に利用するための修繕、工事及び整備計画に基づく必要な事業を実施する。	既設施設の諸営繕、依頼工事の設計及び工事に関する業務	継続		所管法人・団体	(財)豊田市文化振興財団	施設を管理していることにより、実際の施設状況を把握している。 ・詳しい施設状況の説明 ・利用者のニーズの把握 ・施設設備の整備計画の提案	ヒアリング調査		
AD17	社会部	生涯学習課	44	西部コミュニティセンター管理運営委託	西部地区のコミュニティ活動の拠点施設としてH8年度に設置された西部コミュニティセンターの管理・運営委託。	(株)豊田ほっとかんと指定管理に伴う管理運営等に関する協定を締結し、西部コミュニティセンターの管理及び運営を行う。 ・施設維持管理業務 ・受託事業（ほっとかんまつり）	継続		所管法人・団体	(株)豊田ほっとかん	民間のノウハウを生かした管理運営		指定管理	
AD17	社会部	生涯学習課	45	科学体験館の学習内容検討	市内の小4・中2を対象とした、とよた科学体験館学習の内容検討を行う。	・プラネタリウム番組選定 ・サイエンスショー検討 ・学習番組スケジュールの決定	継続		所管法人・団体	とよた科学体験館学習活用会議〔小中部会〕 ※委員は教員	・学校教育の専門家として教師に参加してもらっている（学習内容を吟味したり、教育効果を考えたりすることが必要となる会議だから）	検討委員会	その他	満足度調査
AD17	社会部	生涯学習課	46	科学体験館自主研グループ（理科）によるワークショップ事業	子どもを対象に、科学技術やものづくりのおもしろさ、不思議さを体験してもらうための科学教室	場所：とよた科学体験館 時期：年間5回～8回 時間：1回60分を一日2回実施 内容：科学の不思議を体感できてものづくりのお土産付きの企画 講師：自主研グループ（理科）	継続		その他の市民活動団体	豊田市自主研究グループ（理科）	・豊田市理科教員を中心とした理科実験が好きで、子どもたちのその楽しさを伝えたいと思っている団体	ワークショップ	その他	満足度調査

所属コード	部局名	所属名	NO	事業名	事業目的	事業概要	事業期間		共働相手		共働相手の特長・持ち味 (相手に期待する効果・役割)	共働の段階と手法		
							新規 継続	終了 年度	共働相手の種 別	団体・法人名 (共働相手が団体・法人の場 合)		P	D	C
AD17	社会部	生涯学習課	47	少年少女発明クラブ	子どもたちの創造性の開発を目的に、工夫し考えることの大切さをものづくりを中心としたクラブ活動を通して伝える	場所：産業文化センター 地域文化広場 会員：小学1年生～中学3年生 約550名 活動：常時活動 年間約15回（各学年） 特別活動 OM世界大会・作品展他	継続		関係法人・団体	豊田少年少女発明クラブ	・企業退職技術者や技術科の教員など、ものづくりと発明に対して専門性の高い指導者を持ち、社団法人発明協会の所属している団体である	その他	補助金・ 負担金・ 助成	その他
AD17	社会部	生涯学習課	48	出前科学工作教室	ものづくりと科学のおもしろさを広く子どもたちに伝えるために、発明クラブによる出前事業を展開する。	場所：交流館 時期：年間数回（最大5回） 内容：ものづくりと科学のおもしろさを伝えられる科学工作教室 講師：発明クラブ指導員	継続		関係法人・団体	豊田少年少女発明クラブ	・企業退職技術者や技術科の教員など、ものづくりと発明に対して専門性の高い指導者を持ち、社団法人発明協会の所属している団体である	ワーク ショップ	委託	その他
AD17	社会部	生涯学習課	49	ものづくりに関する各種審議	・ものづくり文化の発展に関する施策に関し、主要な事項を審議することを目的とする。	・ものづくり活動の学校教育への普及についての検討 ・子どもたちのものづくり活動を支える体制づくりについての検討 ・ものづくり文化を醸成するための方策についての検討	新規		所管法人・団体	ものづくり専門委員会 ・学識経験者 ・市教育研究会各教科部会長（校長） ・ものづくり団体代表 ・企業退職者団体代表	学校教育や社会教育の場でのものづくりの経験を踏まえ、幅広く意見をうかがうことができる。	検討委員会	その他	満足度調査
AD17	社会部	生涯学習課	50	ものづくり教育に関する企画検討	・感受性・創造性といった子どもたちの生きる力につながる素養の育成、地域・世代間・異学年とのふれあい生まれるものづくりを企画・制作することを目的とする。	・ものづくり教育で実施する題材の検討 ・ものづくり教育で使用する手引き（マニュアル）の作成	新規		所管法人・団体	ものづくり企画委員会 ・市教育研究会各教科部会メンバー ・市学校教育アドバイザー ・専門家（コンサルタント）	学校教育の場での豊富な経験や全国の先進事例の情報を活用し、効果的な手引き及び学習プログラムを制作することができる。	検討委員会	その他	満足度調査
												企画提案		

所属コード	部局名	所属名	NO	事業名	事業目的	事業概要	事業期間		共働相手		共働相手の特長・持ち味 (相手に期待する効果・役割)	共働の段階と手法						
							新規 継続	終了 年度	共働相手の種 別	団体・法人名 (共働相手が団体・法人の場 合)		P	D	C				
AD17	社会部	生涯学 習課	51	ものづくりフェスタ (わ くわくワールド)	<ul style="list-style-type: none"> 多くの市民がものづくりや科学技術の楽しさ、おもしろさを体感すること。 子ども達の豊かな感受性と創造性の発達を促すこと。 ものづくりへの理解の増進を図り、ものづくり文化の醸造にすること。 	<ul style="list-style-type: none"> 市内で活動するものづくり団体にもものづくり体験ブースの出展を依頼。 豊田クリエイティブクラブに課題解決型のロボット競技会の開催を委託。 トヨタ技術会が実施するTESフェスティバルと同時開催。 会場は、トヨタスポーツセンター。 	継続		所管法人・団 体	とよたものづくりフェスタ実行委員会	ものづくり団体の代表者が委員として参加することで、率直な意見を反映した運営ができること	検討委員 会	実行委員 会	満足度調 査				
									関係法人・団 体	豊田クリエイティブクラブ		市内で活動するものづくり団体である。	企画提案	委託	満足度調 査			
									関係法人・団 体	各種ものづくり関係団体 ※大学等含む		多様な市民がそれぞれの特性を活かしたブースを出展する。	企画提案	ボラン ティア	満足度調 査			
														その他				
		民間企業	トヨタ自動車(株)トヨタ技術 会	会場確保の利便性が図られること、イベント性に特化した催しの企画・開催ができること	検討委員 会	実行委員 会	満足度調 査											
						共催・協 賛												
AD17	社会部	生涯学 習課	52	ものづくりなぜ?なぜ? プロジェクト	ものづくりの達人とともに青少年がものづくりに主体的に挑戦し、その素晴らしさ、楽しさ、やりがい、達成感など「ものを創る心」を青少年に育むこと。	市民の方のご寄付を基に平成15年「豊田市青少年ものづくり基金」を設立。平成16年4月から農業、繊維、自動車の3チームが、平成18年4月には、造形、陶芸の2チームが活動を開始している。活動場所は、財団法人あすて。	継続		所管法人・団 体	ものづくりなぜ?なぜ?プロ ジェクト実行委員会	運営主体がボランティアであること。自動車チームは、自動車関連企業との連携により、専門的な技術を持った指導者により運営されている。※各チームのリーダーが実行委員会に参加。各チームには、市民ボランティアや企業(アイシン精機(株))も参	検討委員 会	実行委員 会	その他				
AD17	社会部	生涯学 習課	53	福祉就業センターの管理 運営等	高齢者等の就業活動を通じた社会参加を促進する生きがい活動の推進	ふれあいの家、山室花はうすの管理運営	継続	20 (年 度協 定)	所管法人・団 体	(社)豊田市シルバー人材セン ター	(社)豊田市シルバー人材センターの事務所が入っているため、効率的な管理運営ができる。		指定管理					
AD17	社会部	生涯学 習課	54	老人憩の家の管理運営等 (5施設)	高齢者の生きがいづくり・交流の場の提供	老人憩の家の管理委託 (①稲武大桑・②稲武押山・③稲武小田木・④稲武御所貝津・⑤小原北部)	継続	20 (年 度協 定)	地縁系組織	①大野瀬町自治区大桑組長 ②押山自治区長 ③小田木町自治区長 ④御所貝津町自治区長 ⑤高原自治区小原北町区長	※地元払い下げまでの経過措置として、当該5施設を指定管理としている。 (民設民営が原則)		指定管理					

所属コード	部局名	所属名	NO	事業名	事業目的	事業概要	事業期間		共働相手		共働相手の特長・持ち味 (相手に期待する効果・役割)	共働の段階と手法		
							新規継続	終了年度	共働相手の種別	団体・法人名 (共働相手が団体・法人の場合)		P	D	C
AD17	社会部	生涯学習課	55	シルバー人材センター運営費補助金	高齢者等の就業活動を通じた社会参加を促進する生きがい活動の推進	シルバー人材センターを設置し、法人を適正に維持するため、人件費を補助する	継続		所管法人・団体	(社) 豊田市シルバー人材センター		補助金・負担金・助成		
AD17	社会部	生涯学習課	56	高齢者能力活用推進費補助金	高齢者の生きがい対策として能力活用を図るとともに、高齢者が地域貢献できるような仕組みを創出する	シルバー人材センターが実施する当該事業に対して補助	継続		所管法人・団体	(社) 豊田市シルバー人材センター	2,116人(平成18年度末)のシルバー会員を抱え、多様な就業機会の提供や社会参加の促進をしている。	補助金・負担金・助成		
AD17	社会部	生涯学習課	57	老人憩の家管理運営支援	高齢者の生きがいづくり・交流の場の提供	施設の設置と管理運営に対する支援。 補助金額 年116,000円/1箇所 備品の貸与 14品目 203箇所(H19.6.30現在) ※補助金に加え、備品設置による支援も行う。	継続	20	地縁系組織	老人クラブ等	老人クラブの会長等が管理者となり、地域の60歳以上の人の利用を促進している。	補助金・負担金・助成	その他	
AD17	社会部	生涯学習課	58	高齢者作品展	60歳以上の人が取得した知識と経験を生かして作成した作品の展示発表をすることにより、作成者の意欲向上(生きがいづくりの推進)を図る	内容:洋画、日本画、書道、手芸、写真、民芸、工芸などの作品 展示 出品資格:市内在住の60歳以上の 人 時期:平成19年12月8日~18日 会場:豊田市民文化会館	継続		地縁系組織	豊田市老人クラブ連合会	老人クラブに委託することにより、人的経費が削減できるとともに、60歳以上の人へ事業の周知にも繋がる。		委託	
AD17	社会部	生涯学習課	59	老人クラブ活動費補助金	60歳以上の人の生きがいと健康づくりに資する活動を推進し、明るい長寿社会の実現と保健福祉の向上を図る	・市老連補助金 ・地区老連事業補助金 ・単位老人クラブ補助金	継続		地縁系組織	豊田市老人クラブ連合会 地区老人クラブ連合会 単位老人クラブ	会員数33,312人、60歳以上の人の加入率39.3%となる大規模な団体であるため、市としても60歳以上の人への施策の一環として活動を支援する必要がある。また、同団体の活発な活動等により、事業目的が達成されることを期待する。	補助金・負担金・助成		
AD17	社会部	生涯学習課	60	地域ふれあい通所事業	高齢者が住み慣れた地域でいつまでも健やかに暮らすために、生きがいづくり、健康づくり、ふれあい活動などを推進し、地域社会との交流や閉じこもりの防止などを目的とする	地域住民の主体的な発想に基づく実施を基本として、地域が実施する諸活動に対して必要な人的支援をする。	継続		所管法人・団体	(社福) 豊田市社会福祉協議会	社協では同事業以外に、多数の自主事業、市からの受託事業を展開しており、地域に密着した団体である。		委託	
									地縁系組織	自治区	地域の高齢者を地域で支える理念の同事業を継続して運営するために、自治区長を始め区民の協力は必要不可欠である。		ボランティア	

所属コード	部局名	所属名	NO	事業名	事業目的	事業概要	事業期間		共働相手		共働相手の特長・持ち味 (相手に期待する効果・役割)	共働の段階と手法		
							新規継続	終了年度	共働相手の種別	団体・法人名 (共働相手が団体・法人の場合)		P	D	C
AD17	社会部	生涯学習課	61	金婚祝賀会	金婚祝賀会の開催を通して、結婚50年を迎えられた夫婦の金婚と長寿を祝い、明るい長寿社会の実現を図る	結婚50周年を祝う式典 市民団体による演奏等のアトラクション 呈茶 ご夫婦での記念撮影	継続		その他の市民活動団体	豊田加茂写真師組合 豊田茶友会 文化振興財団登録の4団体 (青少年センター)	豊田市を中心に活動されている団体の厚意でご協力いただいております、事業にかかる費用が削減できている。		ボランティア	
AD17010	社会部	とよた市民活動支援センター	62	市民活動センター運営	市民活動の発展を支える拠点施設として、より効果的なセンターの運営を図ることを目的とする	次の事項について、所長の招集により会議を開催し、協議する。 (1)センターの事業等の内容に関すること (2)センターの有効な活用方法に関すること (3)その他、センターの管理・運営全般に関すること	継続		所管法人・団体	とよた市民活動センター運営協議会 ・登録団体からの希望者	利用者、管理者双方に有益な提案	検討委員会	その他	その他
AD17010	社会部	とよた市民活動支援センター	63	市民企画事業	市内におけるNPO活動の拡充及びNPO活動に対する市民理解の増進を図るため、とよた市民活動センターと登録団体が共働で、センター事業の一つである講座、講習会を企画・運営することにより団体活動の発展と共働の推進を目指す。	提案企画内容により変化するが、登録団体から提案の企画について、協議し実施する。 (主に”活動団体間のネットワークづくり”に資する事業を実施)	継続		その他の市民活動団体	とよた市民活動センター登録団体 ※特定非営利活動法人を含む	ネットワーク作りに有効な柔軟な発想	企画提案	共催・協賛	事業評価会議
AD17030	社会部	男女共同参画センター	64	親子でつくって遊ぼう！	日頃子どもと触れ合う機会の少ないお父さんに親子のふれあいを楽しんでもらい子育てに参加する機会にしよう	年2回子育て応援講座を開催	継続		その他の市民活動団体	豊田おもちゃの図書館 とよちゃんライブラリー	身近なものからおもちゃを作成する遊びのノウハウを生かした講座開催が可能	企画提案	共催・協賛	
AD17030	社会部	男女共同参画センター	65	キラ☆とよたまつり	男女共同参画社会づくりを推進する拠点施設としての役割を、広く市民に知っていただくとともに、男女共同参画への取組みをPRする。	とよた男女共同参画センター、産業文化センター1階多目的ホール・産業交流コーナーにおいてセンター登録団体及びセンター企画イベントを実施。 参加予定人数1,500名	継続		その他の市民活動団体	とよた男女共同参画センター登録団体	とよた男女共同参画センター登録団体による活動発表の場としての企画参加が事業への市民参加の拡大につながる	企画提案	ボランティア	
AD17030	社会部	男女共同参画センター	66	ファミリー・サービス・クラブ支援	女性の社会参加・相互援助活動の促進	昭和60年に労働省からの補助事業として立ち上がった、会員相互援助活動を行うクラブに対し支援する	継続		その他の市民活動団体	豊田市ファミリー・サービス・クラブ	既存のノウハウを生かした活動運営		補助金・負担金・助成	
AD17030	社会部	男女共同参画センター	67	自治区女性会補助金	自治区内において女性たちの自主性と社会性を高め、健全な地域社会づくりを進めることを目的とする自治区女性会の活動支援。	女性会の年間活動に対する補助(上限20,000円…1/2補助)	継続		地縁系組織	自治区女性会	自治区運営に参画し、まちづくりへの貢献度が高い		補助金・負担金・助成	

所属コード	部局名	所属名	NO	事業名	事業目的	事業概要	事業期間		共働相手		共働相手の特長・持ち味 (相手に期待する効果・役割)	共働の段階と手法		
							新規 継続	終了 年度	共働相手の種 別	団体・法人名 (共働相手が団体・法人の場 合)		P	D	C
AD17030	社会部	男女共同参画センター	68	ボランティアによる女性のための電話相談	女性のための電話相談におけるボランティア相談員として活動する	火・木・土 10時～16時 金 13時～19時	継続		市民	公募による	ボランティア活動にあたり研修等を実施し、得た知識を活動に対して、さらには地域における活動においても生かし男女共同参画推進につなげる		ボラン ティア	
AD18	社会部	防災防犯課	69	家具転倒防止器具等あっせん事業	地震による被害を最小限におさえるため、各家庭でできる身近な防災対策を推進する。	家具転倒防止器具等をあっせんする。	新規	19	地縁系組織	各自治区 自主防災会	自治区を経由して家具転倒防止器具等をあっせんすることによる家具固定率のアップが図れる。	その他	その他	
AD18	社会部	防災防犯課	70	市民防災総合演習	地震災害を想定した防災訓練を実施することで、自助・共助の意識を高める。	東海地震の警戒宣言から、地震発生を想定した一連の訓練を実施する。	継続		地縁系組織	各自治区 自主防災会 各種団体	コミュニティ単位で市民主体の防災訓練を行うことで防災意識の高揚が図れる。	検討委員 会	実行委員 会	
AD18	社会部	防災防犯課	71	犯罪のないまちづくり推進強化地区支援事業	犯罪の抑止と治安に対する不安感を解消し、安心して暮らせる地域社会を実現する。	重点的に取り組む事項と併せて地区を指定し、防犯対策に係る物的、人的支援を実施する。	新規		地縁系組織	指定自治区	市民一人ひとりの防犯意識が醸成され、安心して暮らせるまちづくりができる。	その他	その他	その他
AE01	環境部	環境政策課	72	環境学習施設「eco-T」事業運営委託	多くの市民に身近な環境問題に気付いてもらい、日常生活の中で地球温暖化防止のための環境にやさしい行動ができる人づくりを目指す	・環境学習事業の企画・実施 ・市民参画の促進事業	新規		特定非営利活動法人	特定非営利活動法人 中部リサイクル運動市民の会	eco-Tの構想段階から関わり、施設を熟知しているインタープリター養成講座を実施し、市民ボランティアとの信頼関係が構築されている	企画提案	委託	満足度調査
AE01	環境部	環境政策課	73	eco-T市民ボランティア活動	市民からeco-Tの運営に協力してもらえる人材を育成し、地域ではリーダーとなり環境活動を推進する人づくりを目指す	・渡刈クリーンセンター見学案内 ・環境学習プログラムの解説	新規		市民	公募による (養成講座受講者)	市民自らが施設解説等を行うことで、多くの市民に施設に対する理解が得られるとともに、地域での環境活動を推進することができる	その他	ボラン ティア	
AE01	環境部	環境政策課	74	エコライフ推進事業	市民一人ひとりに環境に配慮した行動を促す	・買物袋持参を始めとしたごみの発生抑制のための各種事業	継続		その他の市民活動団体	とよたエコライフ倶楽部	会員の自主的な活動が実施できる。		補助金・ 負担金・ 助成	

所属コード	部局名	所属名	NO	事業名	事業目的	事業概要	事業期間		共働相手		共働相手の特長・持ち味 (相手に期待する効果・役割)	共働の段階と手法		
							新規 継続	終了 年度	共働相手の種 別	団体・法人名 (共働相手が団体・法人の場 合)		P	D	C
AE01	環境部	環境政策課	75	自然保護事業	貴重な動植物が生育する市内の湿地やウシモツゴ生息池などの自然資源を保全する	<ul style="list-style-type: none"> 湿地、ウシモツゴ生息池、名木の巡視 湿地の環境管理作業 矢並湿地一般公開 	継続		その他の市民活動団体	豊田市自然愛護協会	市内の植物、動物及び地質などに精通した専門的な知識を有する団体であり、市の自然保全をはかる上で欠かせない存在である		委託	
AE01	環境部	環境政策課	76	自然観察の森管理事業	民間団体の能力を活用することで、市民へ多様な自然環境学習の機会を提供するとともに、経費節減を図る	<ul style="list-style-type: none"> 自然観察の森の管理・運営 自然環境学習の推進 	継続		関係法人・団体	(財) 日本野鳥の会	自然環境学習について多様なノウハウを持つとともに、自然観察の森の適切な環境管理が実施できる		指定管理	
AE01	環境部	環境政策課	77	自然観察の森市民ボランティア活動	市民自らが自然解説等を行うことで、市民主体の自然環境学習の推進を図る	<ul style="list-style-type: none"> 自然解説 湿地や里山のビオトープづくり 自然体験活動の指導 	継続		その他の市民活動団体	森先案内人あべまきの会 とよた自然わくわくクラブ	市民自らが自然解説等を行うことで、多くの市民に森の楽しさ、自然の不思議さに気づき、自然を大切にする行動をおこす		ボランティア	
AE01	環境部	環境政策課	78	自然観察の森及び周辺地域整備事業	自然観察の森及び周辺地域を、市民の環境に配慮した行動につなげる環境学習の拠点として整備する	<ul style="list-style-type: none"> 基本構想策定にかかるパブリックコメントの実施 整備検討会開催 	継続		その他の市民活動団体	豊田市自然愛護協会 とよた自然わくわくクラブ	自然観察の森で活動する団体が参加することで、より良い環境学習の拠点として整備とする	パブリックコメント		
AE01	環境部	環境政策課	79	生きものと共生する地域づくり支援事業	市民団体が多様な生きものが生息する身近な自然の回復・整備を行うことで、生きものと共生する地域づくりの推進に寄与する	<ul style="list-style-type: none"> 身近な自然の回復・整備をすすめる団体に対して 消耗品、原材料を支給 講師を派遣 	継続		地縁系組織	しだれ桜を守る会等	市民自らが地域にある自然資源の回復・整備に携わることで、市の自然が保全される		補助金・負担金・助成	
AE01	環境部	環境政策課	80	御船・西中山地区環境改善事業	荒廃した竹林を整備することにより発生する竹材から竹炭を生産し、粉末にした竹炭を使って河川浄化活動を試験的に実施することで、環境にやさしいライフスタイルの普及をめざす	<ul style="list-style-type: none"> 竹林整備 竹炭粉生産及び河川浄化 	継続		地縁系組織	御船・西中山地区環境改善委員会	市民自らが竹林整備、河川浄化を行うことで、竹林を活用した生活様式の改善と環境学習に資する		委託	
AE01	環境部	環境政策課	81	湿地サミット開催事業	市民が湿地の大切さに気づき、身近な生物多様性から人間も生態系の一部であることを認識することで、市の湿地保全に資する	<ul style="list-style-type: none"> 矢並湿地の一般公開 市内湿地の紹介等会議 基調講演会 	新規	19	その他の市民活動団体	豊田市自然愛護協会 矢並湿地保存会	湿地保護活動を行っている市民団体がサミットの企画・実施を市と共働で行うことで、市民に湿地の大切さを啓発する	検討委員会	実行委員会	

所属コード	部局名	所属名	NO	事業名	事業目的	事業概要	事業期間		共働相手		共働相手の特長・持ち味 (相手に期待する効果・役割)	共働の段階と手法		
							新規 継続	終了 年度	共働相手の種 別	団体・法人名 (共働相手が団体・法人の場 合)		P	D	C
AF01	福祉保 健部	(福) 総務課	82	福祉健康フェスティバル	市民の福祉と健康への意識の高揚	福祉のブースを社会福祉協議会と共催で行う。 《(福)総務課担当》	継続		所管法人・団 体	(社福) 豊田市社会福祉協議会	・福祉やボランティアの各種 団体と直結しており、行政の 届かない部分を補うことができ る。		補助金・ 負担金・ 助成	
AF01	福祉保 健部	(福) 総務課	83	全国ボランティアフェス ティバル	全国からボランティア・市民活動 に関心のある人や実践活動を行っ ている人々が集い語り合いふれあ いながら交流を深め活動の啓発普 及や意欲の高揚を図るとともに団 塊の世代の新たなボランティア・ 市民活動のあり方を模索する。	西三河ブロックの開催 ・参号館中心として6会場で分科会 を開催。 ・豊田産業フェスタと同時開催で 豊田スタジアムで福祉体験、授産 製品や郷土特産品の販売、ボラン ティア紹介を行う。	新規	19	所管法人・団 体	(社福) 豊田市社会福祉協議会	・西三河の各市町の行政、社 会福祉協議会、NPO法人、ボラ ンティア団体等が各分科会を 受け持ち、ボランティアへの 理解を深める。		共催・協 賛	
AF03	福祉保 健部	高齢福 祉課	84	自動車学校のスクールバ スを利用した豊田市高齢 者等交通対策事業	豊田市内のスクールバス路線にお いて、高齢者及び障がい者に対 して、スクールバスの空スペースへ の乗車を可能にすることにより移 動の支援を行ない、気軽に社会参 加できる機会を得られるようにす ること	自動車学校がスクールバスの空き スペースを活用し、高齢者等の移 動支援を無償で行う	継続		民間企業	明豊自動車株式会社（豊田自動 車学校） 株式会社トヨタ中央自動車学校	自動車学校の社会貢献の一環 として実施 公共交通機関の未発達な地域 (一部地域を除く)でも利用 が可能である	企画提案	共催・協 賛	
AF03	福祉保 健部	高齢福 祉課	85	災害時要援護者登録制度	近隣住民の互助により災害時にお ける災害時要援護者の支援体制を 確立し、自治区内での普段からの 見守りと要援護者が住み慣れた地 域で安心して生活できる環境を整 備すること	様々な災害が発生した場合に第三 者の支援が必要と想定される方 (高齢者、障がい者等)を地域支 援者とともに登録し、区長ならび に民生・児童委員に登録情報の提 供を行う。	継続		地縁系組織	自治区	要援護者に対する普段からの 見守りや、災害が発生しそう な場合や発生した時に、災害 に関する情報を伝えたり一緒 に避難したりする等の支援に 心がけていただく		共催・協 賛	
AF05	福祉保 健部	保健衛 生課	86	動物愛護ボランティア育 成事業	一般市民への動物愛護意識の普及 と市民の生きがいを推進する こと	本市に登録されている飼い犬とそ の飼い主を対象に動物愛護ボラン ティア養成講座を実施し、ボラン ティアを育成する。全講座終了後 に実施する実技審査で訪問活動犬 として認定された犬と飼い主に市 が主催する動物愛護事業への参 加・協力を依頼する。	継続		市民	豊田市動物愛護ボランティア (公募による。養成講座受講 者)	・一般市民への動物愛護意識 の普及 ・ボランティア活動に参加す ることによる一般市民の生き がいをづくり	ワーク ショップ	ボラン ティア	
AF06	福祉保 健部	健康増 進課	87	ヘルスサポートリーダー による健康づくり事業	ヘルスサポートリーダーが「健康 づくり豊田21」計画の趣旨を理解 し、地域の健康づくりの担い手と なるよう養成・育成する。	市はヘルスサポートリーダー養成 講座・育成研修を実施する。 ヘルスサポートリーダーは交流館 等と連携し、ヘルスサポーター養 成講座を実施する。 また、自治区・老人クラブ等地域 からの要望に応じて健康講座・運 動支援を行う。	継続		その他の市民 活動団体	豊田市健康づくり協議会	地域に根ざした健康づくりボ ランティア		補助金・ 負担金・ 助成	

所属コード	部局名	所属名	NO	事業名	事業目的	事業概要	事業期間		共働相手		共働相手の特長・持ち味 (相手に期待する効果・役割)	共働の段階と手法		
							新規 継続	終了 年度	共働相手の種 別	団体・法人名 (共働相手が団体・法人の場 合)		P	D	C
AF06	福祉保 健部	健康増 進課	82	福祉健康フェスティバル	市民の健康と福祉向上への意識の 高揚を図る。	日時：11月17日(土)・18 日(日) 場所：市民文化会館 内容： 福祉ゾーン、健康ゾーン、歯と 口のゾーン、食育ゾーン等に区分 けし、各団体がゾーンをそれぞれ 運営する。 講演会、表彰式、ブース運営、 模擬店等	新規		関係法人・団 体	豊田加茂医師会 豊田加茂歯科医師会 豊田西加茂薬剤師会	各団体、関係者を共催という 形で巻き込むことで、参加の 輪が広がる。 団体の長所を活かすことで、 機動的かつ多様なプログラム を実施できる。		共催・協 賛	
									その他の市民 活動団体	豊田市健康づくり協議会		各団体、関係者を共催という 形で巻き込むことで、参加の 輪が広がる。 団体の長所を活かすことで、 機動的かつ多様なプログラム を実施できる。		共催・協 賛
af07	福祉保 健部	感染症 予防課	88	エイズ啓発事業 《世界エイズデー関連イ ベント》	エイズに関する正しい知識の普及 啓発事業を行うことにより、エイ ズのまん延防止及び患者・感染者 に対する差別・偏見の解消と併せ てHIV感染の予防を図る。	世界エイズデーに併せて、女性の ボランティア団体や企業、学校、 NPOと連携イベント等を実施す る。レッドリボンツリーの設置や レッドリボン配布等(予定)。	継続		その他の市民 活動団体	国際ソロプチミスト豊田	行政が持ち合わせないような 柔軟性や団体力を発揮した広 い活動	検討委員 会	共催・協 賛	その他
												その他		
AF07	福祉保 健部	感染症 予防課	89	エイズ啓発事業 《中学生を対象とする啓 発事業》	エイズに関する正しい知識の普及 啓発事業を行うことにより、エイ ズのまん延防止及び患者・感染者 に対する差別・偏見の解消と併せ てHIV感染の予防を図る。	市内中学校について、1年を通して エイズ及び性感染症の予防、差 別・偏見の解消、思春期教育の推 進を図る。内容は、保健主事、養 護教諭及び学校保健委員会、 PTA、生徒会を中心に、外部講 師・保健所保健師による講演会の 開催、文化祭での保健所コーナ ーの設置、レッドリボン等の作成、	継続		市民	協力校・指定校の生徒等	思春期層の方と共働で啓発事 業活動を実施することにより その周辺の人々・環境への波 及効果を期待する	その他	共催・協 賛	その他
AF08	福祉保 健部	障がい 福祉課	90	福祉ガイドブック作成 (HP版)	障害者の社会参加を促進するた め、外出時に必要な情報を提供す る	市内施設におけるバリアフリー対 応の状況を紹介する福祉ガイド ブックのホームページを作成す る。	継続		所管法人・団 体	福祉ガイドブック作成委員会	障がいのある人の目線から見 えることを形にしてもらう		実行委員 会	
													委託	
AF08	福祉保 健部	障がい 福祉課	91	障がい者計画に関する懇 談	新ライフサポートプラン及び豊田 市障がい福祉計画の総合的、計画 的な推進を図るため、参考意見を うかがうこと	懇話会の開催(年2～4回程度)	継続		所管法人・団 体	障がい者計画推進懇話会 ・市内の障がい者及びその家 族等を中心に構成したグループ 等(16グループ)	・障がい者福祉施策に関する 当事者の意見。 ・障がい者福祉施策の関係者 への普及・啓発 ・障がい者福祉施策の当事者 としての満足度調査、事業評 価	検討委員 会	その他	満足度調 査
												ワーク ショップ		事業評価 会議
AG01	産業部	産業労 政課	92	燃料電池自動車授業補助 者派遣事業	燃料電池自動車普及啓発を目的 とした授業を市内小学校で実施す る際に、担当教員の支援及び補助 をする。	・燃料電池自動車授業の教材管理 ・燃料電池自動車授業担当教員に 対する指導 ・その他授業実施に関する相談、 助言	新規		市民	退職した教員	管理職経験のある退職教員で あり、市内学校の状況をよく 理解しているため現職教員と の連携が図りやすい。また、 理科教員としての経験も豊富 である。	企画提案	委託	

所属コード	部局名	所属名	NO	事業名	事業目的	事業概要	事業期間		共働相手		共働相手の特長・持ち味 (相手に期待する効果・役割)	共働の段階と手法		
							新規 継続	終了 年度	共働相手の種 別	団体・法人名 (共働相手が団体・法人の場 合)		P	D	C
AG01	産業部	産業労 政課	93	職業能力開発教室実施事 業 《造園・木工関係》	現在職に就いていないが、就労意 欲のある方を対象として、能力開 発や意識改革等の向上を図る。	・造園技能士3級資格取得教室 ・造園コース（初級） ・木工教室	継続		関係法人・団 体	職業訓練法人豊田職業訓練協会	必要とする技術等について精 通しているため、指導能力に 期待できる。また、会場及び 必要とする設備利用が可能で ある。	企画提案	指定管理	
AG01	産業部	産業労 政課	94	職業能力開発教室実施事 業 《パソコン関係》	現在職に就いていないが、就労意 欲のある方を対象として、能力開 発や意識改革等の向上を図る。	・パソコン教室（初級）	継続		民間企業	愛知工業大学情報電子専門学校 愛知学泉大学	必要とする技術等について精 通しているため、指導能力に 期待できる。また、会場及び 必要とする設備利用が可能で ある。	企画提案	その他	
AG02	産業部	商業観 光課	95	がんばる観光地支援制度 検討事業	地域が主体となった観光まちづく りを主体的に進める地域の団体に 対して支援する制度を検討する。	・民間事業者との共働による実験 の主体的参加 ・観光事業者の視点から提案	新規	19	地縁系組織	笹戸温泉振興会 松嶺ささゆり群生地 保存会	既存の住民（事業者）組織に よる率直な意見収集や現況課 題の把握が可能となり、実効 性の高い、制度の検討ができ る。	企画提案	その他	
AG02	産業部	商業観 光課	96	松平郷歴史観光拠点施設 検討事業	松平郷の観光資源である松平氏の 歴史的遺産について、その歴史 的・観光的価値を再確認すると ともに、遺産を継承・活用するた めの拠点施設のあり方などを検討 委員会と併行して実施する。	検討委員会と併行して、地域のコ ンセンサス形成を目的として、地 元への説明会を行う。	新規	19	地縁系組織	松平郷ふるさとづくり委員会	市民感覚での意見	住民説明 会	その他	
AG02	産業部	商業観 光課	97	松平観光自然歩道管理事 業	松平観光自然歩道を管理すること により、観光客の利便性を確保す る。	松平観光自然歩道の安全パトロー ル、草刈り、案内標識の保守。	継続		地縁系組織	滝脇自治区 九久平自治区 林添自治区 松平自治区 坂上自治区 豊松自治区 加茂川自治区 大内自治区	地元自治区のため自然歩道内 を熟知しており、早急の対応 が可能であり、愛着を持った 管理を望むことができる。		委託	
AG02	産業部	商業観 光課	98	六所山公衆便所清掃事業	六所山公衆便所を管理すること により、観光客の利便性を確保す る。	便所清掃。	継続		地縁系組織	坂上町東宮口地区	地元住民で構成している団体 のため自然歩道内を熟知して おり、早急の対応が可能であ り、愛着を持った管理を望む ことができる。		委託	
AG02	産業部	商業観 光課	99	王滝溪谷管理事業	王滝溪谷を管理することにより、 観光地の景観維持と観光客の利便 性を確保する。	清掃、駐車場の清掃、便所清掃、 草刈り、景観の保持。	継続		地縁系組織	龍門園地／王滝自治区 歌石園地／豊松町歌石観光 椿木園地／椿木地区 古美山園地／坂上町下屋敷地区	地元住民で構成している団体 のため、園地内を熟知してお り、早急の対応が可能であ り、愛着を持った園地管理を 望むことができる。		委託	

所属コード	部局名	所属名	NO	事業名	事業目的	事業概要	事業期間		共働相手		共働相手の特長・持ち味 (相手に期待する効果・役割)	共働の段階と手法		
							新規 継続	終了 年度	共働相手の種 別	団体・法人名 (共働相手が団体・法人の場 合)		P	D	C
AG02	産業部	商業観光課	100	松平郷清掃管理事業	松平氏発祥の地松平郷を清掃管理することにより、観光客の安全を確保し、観光客を増やす。	松平郷の清掃、便所清掃、草刈り、植栽剪定・施肥。	継続		地縁系組織	松平郷ふるさとづくり委員会	地元住民で構成している団体のため、園地内を熟知しており、早急の対応が可能であり、愛着を持った園地管理を望むことができる。		委託	
AG02	産業部	商業観光課	101	松平城址の森管理事業	松平氏遺産である「松平城址」を管理することにより、観光客の安全を確保し、観光客を増やす。	松平城址の森の除草、植栽剪定。	継続		地縁系組織	松平郷ふるさとづくり委員会	地元住民で構成している団体のため、園地内を熟知しており、緊急時にも早急に対応することができる。		委託	
AG02	産業部	商業観光課	102	広梅橋ポケットパーク管理事業	矢作川及び東海自然歩道沿いに設置した公園及び便所を管理することにより、観光客の利便性を確保する。	ポケットパークの景観保持、便所清掃。	継続		地縁系組織	西広瀬自治区	地元自治区のため早急の対応が可能であり、愛着を持った施設管理を望むことができる。		委託	
AG02	産業部	商業観光課	103	南山駐車場管理事業	南山駐車場を管理することにより、観光客の利便性を確保する。	駐車場の景観保持、便所清掃。	継続		地縁系組織	山中町平成会	地元住民で構成している団体のため早急の対応が可能であり、愛着を持った施設管理を望むことができる。		委託	
AG02	産業部	商業観光課	104	猿投山菊石遊歩道管理事業	猿投山観光施設を管理することにより、観光客の安全を確保し、観光客を増やす。	猿投山観光施設の清掃、除草、植栽剪定、便所清掃、水車管理。	継続		地縁系組織	猿投山愛護会	自治区内の施設等の管理、生活環境整備を目的として地域住民で組織された公共的団体に準じた団体のため、地域の魅力を最大限に生かすことができ、また地域内を熟知しており、緊急時も早急に対応することができる。		委託	
AG04	産業部	農地整備課	105	農地・水・環境保全向上対策	農業者だけでなく、地域住民を含めた多様な組織の参画を得て、農地、農業用施設の草刈り、施設の点検、機能診断や景観形成など、質を高める効果の高い共同活動により地域資源の保全を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 農業者を中心に各種団体が参画する活動組織を設立。 市等で構成する地域協議会を設置。 国、県及び市が地域協議会に対して支援交付金を交付する。 各活動組織内の話し合いにより共同活動計画を作成、実践。 共同活動計画に基づく取組、活動を実践する活動組織に対し、地域協議会から支援交付金を交付。 	新規	23	地縁系組織	活動組織 ・農業者 ・自治区 ・学校PTA ・地域住民等	農業者だけでなく、地域ぐるみの活動。		補助金・負担金・助成	
								所管法人・団体	地域協議会 ・縣市 ・土地改良区 ・県土連 ・JA	農業者だけでなく、地域ぐるみの活動。		補助金・負担金・助成		

所属コード	部局名	所属名	NO	事業名	事業目的	事業概要	事業期間		共働相手		共働相手の特長・持ち味 (相手に期待する効果・役割)	共働の段階と手法		
							新規 継続	終了 年度	共働相手の種 別	団体・法人名 (共働相手が団体・法人の場 合)		P	D	C
AG04	産業部	農地整備課	106	地籍調査事業	地籍の明確化により公共事業の円滑化、災害時の迅速な復旧、土地境界紛争の未然防止、課税の適正化等を図る。	法務局にある公図、登記簿を基に一筆地調査立会い、地籍測量を行い、地籍図・地籍簿を作成し国の認証を受け公図及び登記簿を修正する。	継続		所管法人・団体	地籍調査推進協力会	地元選出の委員(20名)による事業の趣旨の普及、宣伝、広報。一筆地調査立会いの補助。境界紛争の調停。地籍調査事業の円滑な推進ができる。	住民説明会	共催・協賛	
AG06	産業部	農政課	107	地産地食推進事業	生産・流通コーディネート機能を整備する	学校給食での地場農産物の利用を拡大、農産物直売所の販売促進、小売店等によるインショップの推進などの調整機能を担う。	継続		関係法人・団体	J A 学校給食協会	販売及び加工等に利用可能な農産物等に関する情報を共有することで効果的な利活用が可能となる。	検討委員会	委託	
										民間企業	流通・加工業 小売店業者等	販売及び加工等に利用可能な農産物等に関する情報を共有することで効果的な利活用が可能となる。	検討委員会	委託
									関係法人・団体	J A	J A 営農センターが中心となり農業・農村振興上の地域課題、取組方針を検討することが可能となる。	地区懇談会		
												アンケート調査		
地縁系組織	農事組合 農事組合法人	J A 営農センターが中心となり農業・農村振興上の地域課題、取組方針を検討することが可能となる。	地区懇談会											
アンケート調査														
AG06	産業部	農政課	109	地域ぐるみの鳥獣害対策の推進	集落ぐるみでの鳥獣害対策を推進し、対策の実施地域での被害をゼロとする。	有害鳥獣対策連絡協議会において策定したアクションプログラムの行動計画に基づき、集落ぐるみによる防除柵設置など効果的な防除方法を実施する。	新規		関係法人・団体	J A	集落ぐるみの話し合いにより、効果的な防除対策の実施が可能となる。	地区懇談会	補助金・負担金・助成	
												アンケート調査		
									地縁系組織	猟友会 農事組合 自治会等	集落ぐるみの話し合いにより、効果的な防除対策の実施が可能となる。	地区懇談会	補助金・負担金・助成	
												アンケート調査		

所属コード	部局名	所属名	NO	事業名	事業目的	事業概要	事業期間		共働相手		共働相手の特長・持ち味 (相手に期待する効果・役割)	共働の段階と手法		
							新規 継続	終了 年度	共働相手の種 別	団体・法人名 (共働相手が団体・法人の場 合)		P	D	C
AG07	産業部	森林課	110	市有林長期施業計画策定 事業	市有林を計画的に管理するため	現地調査と森のカルテ作成(長期 計画)	継続		所管法人・団 体	豊田森林組合	林業の主たる担い手であり、 専門知識と経験を有してい る。		委託	
AG07	産業部	森林課	111	森づくり基本計画策定	森づくり条例、構想に基づき、100 年の森づくりの基盤を構築する。	基盤整備を進めるとともに間伐を 強力に推進し平成30年までに「健 全な人工林の割合」を50%に高め る。	継続		地縁系組織	地域森づくり会議	森林所有者の集まりであり、 事業を推進していく上での調 整役が期待される。	住民説明 会	補助金・ 負担金・ 助成	
AG07	産業部	森林課	112	とよた森林学校	林業を担う人材の育成 森林・林業の理解者の育成	人材育成コース 6コース 森の応援団コース 8コース	継続		特定非営利活 動法人	NPO法人 都市と農山村の交流ス ローライフセンター	森林林業関係のイベントを自 主的に開催しており、専門知 識と経験を有している。	検討委員 会	委託	その他
AH09	建設部	道路維 持課	113	道路愛護事業	道路の愛護精神の高揚を高めると ともに交通の安全の確保及び地域 住民の連帯意識の向上を図る。	自治区単位で道路の草刈、ごみ、 空き缶拾い、側溝の清掃を実施 ※事前に区長会等へ説明、自治区 へは報償費で支払い。	継続		地縁系組織	自治区	・道路の愛護精神の向上 ・地元における視距不良箇所 の草刈など実態にあった作業 が可能		その他	
AH09	建設部	道路維 持課	114	原材料支給事業(道路維 持)	道路等の安全な施設の確保と環境 整備を市と地域住民が共働で推進 する。	工事の施行承認を取り市から材料 を支給し、地元で施行する。 ※事前に区長会等へ説明、自治区 に対し、原材料を支給。	継続		地縁系組織	自治区	・住民で対応できることは、 住民の自主的な活動により、 早期の利便性や安全性の効果 を得ることが可能		その他	
AH09	建設部	道路維 持課	115	道路緑化管理事業	道路緑化の維持管理を委託するこ とで地域住民に潤いと安らぎを与 えるとともに交通の安全を確保す る。	道路の維持管理(草刈、除草、清 掃、刈り込み、花の育成等) ※事前に区長会等へ説明。	継続		地縁系組織	自治区	・地域のきめ細やかな管理に より、道路環境の保全と交通 の安全性の確保が可能 ・業者に委託するより経費の 削減及び要望・苦情等を減ら すことが可能		委託	
AH12	建設部	河川課	116	矢作川河畔林整備事業	矢作川中・上流域において、景観 に配慮した河畔林の整備を行う。 それにより、川を愛護する市民意 識の醸成と矢作川流域の持続的な 発展を支える豊かな自然の保全・ 改善を図ると共に、豊かな自然、 人、歴史を次世代に継承する。	整備箇所→当面5箇所 ・自然環境調査 ・ワークショップによる整備計 画の作成 ・河畔林整備工事 ・地域住民との共働による管理	新規		地縁系組織		地域のボランティア団体 (水辺愛護会の予定) 水辺環境の持続的な保全	ワーク ショップ	ボラン ティア	その他

所属コード	部局名	所属名	NO	事業名	事業目的	事業概要	事業期間		共働相手		共働相手の特長・持ち味 (相手に期待する効果・役割)	共働の段階と手法		
							新規 継続	終了 年度	共働相手の種 別	団体・法人名 (共働相手が団体・法人の場 合)		P	D	C
AH12	建設部	河川課	117	流域貯留施設整備事業 (ハツ谷池)	境川流域総合治水対策に基づき、農業用ため池を洪水調整池として整備し、浸水被害の低減を図る。また、地域の意見を取り入れた環境整備を行い憩いの場の創設を行う。	境川流域総合治水対策事業に基づき、農業用ため池を洪水調整池として整備する。また、地域の要望等を考慮し環境整備も合わせて行う。 貯留量V=13,000m ³	新規		地縁系組織		地域のボランティア団体 (ため池愛護会の予定) 水辺環境の持続的な保全	ワーク ショップ	ボラン ティア	その他
AH13	建設部	公園課	118	都市公園整備事業 (ワークショップ)	地域住民の意向を反映させた公園整備計画の策定	自治区長、自治区役員、住民及び各種団体の代表者による公園整備の案を策定する。 *委員 20~30人 *開催 3~4回	継続		地縁系組織		公園周辺の住民参加により公園づくりを行うことにより愛着が生まれ、整備後、愛護会による日常管理に発展する。	ワーク ショップ	実行委員 会	その他
AH13	建設部	公園課	119	都市公園維持管理委託 (児ノ口公園)	児ノ口公園公園の適正、かつ、良好な維持管理を行う。	公園の管理作業 (内容)草刈工、芝刈工、樹木剪定工、薬剤散布工、清掃工、便所清掃工、除草工	継続		地縁系組織	児ノ口公園管理協会	公園整備計画時点から関わりのある地元団体による公園の維持管理	その他	委託	その他
AH13	建設部	公園課	120	公園愛護事業 (愛護会)	公園愛護精神の高揚と地域住民の連帯意識の助長を促す。	公園の管理作業 (内容)草刈工、清掃工、公園施設等の点検及び危険箇所の報告、保全に関する軽易な作業	継続		地縁系組織	〇〇〇公園愛護会	公園愛護の意識高揚	その他	ボラン ティア	その他
AJ01	都市整備部	都市計画課	121	違反広告物追放活動制度	地域の良好な景観を形成し安全なまちにするため、屋外広告物法及び豊田市屋外広告物条例の規定に基づき道路上等に表示された違反広告物を市民が身近な場所で除却するための制度	市が団体登録した任意の団体が違反広告物の簡易除却を行う。市は活動に必要な支援を行うとともに除却した広告物の処分を行う。	継続		地縁系組織	自治区	・市民が活動することにより、生活道路周辺等にまで範囲が拡大し、かつ迅速な除却が可能となる。	審議会	その他	
AJ01	都市整備部	都市計画課	122	まちづくり協議会支援制度	より良い環境のまちにするために、地域の住民が主体となったまちづくり活動を支援する。	地域住民を対象に、まちづくり活動の主体となる協議会を設立し、まちづくりに関する調査・研究活動を実施する。市は活動に対し支援する。	継続		地縁系組織	自治区	・地区の持ち味を生かした住民主体のまちづくりが可能となる。		補助金・ 負担金・ 助成	

所属コード	部局名	所属名	NO	事業名	事業目的	事業概要	事業期間		共働相手		共働相手の特長・持ち味 (相手に期待する効果・役割)	共働の段階と手法		
							新規 継続	終了 年度	共働相手の種 別	団体・法人名 (共働相手が団体・法人の場 合)		P	D	C
AJ02	都市整備部	交通政策課	123	地域バス運行事業	地域における日常生活に必要な交通サービスを継続的に提供し、安全に安心して使える地域バス等を確保する。	地域が主体となった、地域の実情に応じた地域バス等の確保に向けた活動への支援	継続		地縁系組織	〇〇〇地域バス検討委員会 (運行開始後は〇〇〇地域バス運営協議会)	・地域の実情に応じた地域バス等の運行内容(経路、本数、バス停、ダイヤ、運行形態等)の検討及び運行後の利用促進活動 ・自分たちの、地域の公共交通という意識の醸成	ワークショップ	補助金・負担金・助成	満足度調査
												アンケート調査	実行委員会	事業評価会議
												住民説明会		
									市民		・住民ニーズの把握 ・利用意識の向上	ワークショップ		満足度調査
												アンケート調査		
												住民説明会		
AJ02	都市整備部	交通政策課	124	チャレンジECO通勤事業	通勤におけるマイカーから公共交通等利用への転換を図り、環境にやさしく、渋滞の無いすみやすいまちづくりを目指す取組み	インターネットによるTDM支援システムを活用し、事業所が自発的、継続的に取り組むことのできる体制を整備	継続	民間企業		・事業所が自主的に取り組むことにより継続的な事業の展開が期待できる。 ・社員への事業目的の浸透が図られるとともに、自発的な参加者の拡大が期待される。	その他	共催・協賛	満足度調査	
AJ02	都市整備部	交通政策課	125	バス利用促進事業	公共交通に対する理解を深めるとともに、ワークショップ等の活動を通じて利用促進を図る。	モビリティマネジメントシステムを導入し、地域・学校・子ども会等と公共交通の利用促進のためのワークショップを実施	新規	市民		・活動を通じて、公共交通の役割や使い方の理解を深める。 ・利用者の視点からの利用促進に関する意見	ワークショップ	共催・協賛	満足度調査	

所属コード	部局名	所属名	NO	事業名	事業目的	事業概要	事業期間		共働相手		共働相手の特長・持ち味 (相手に期待する効果・役割)	共働の段階と手法					
							新規 継続	終了 年度	共働相手の種 別	団体・法人名 (共働相手が団体・法人の場 合)		P	D	C			
AJ02	都市整備部	交通政策課	126	エコドライブ普及促進事業	交通分野における地球温暖化対策(CO2削減)の一つとして、エコドライブへの理解の向上と実践の普及を図る。	エコドライブ教本の配布、体験試乗会、インターネットを活用した市民・企業向けエコドライブ宣言、エコライフ倶楽部や環境教育施設エコット等と連携した普及啓発活動の実施	継続		市民		・環境問題を身近な問題として捉えるとともに、一人ひとりの行動が対策へつながることへの理解と実践	ワークショップ		市民モニター			
												特定非営利活動法人		・各団体を通じた普及拡大及び市民への普及拡大策に対する新たな提言と実践	企画提案	共催・協賛	市民モニター
															ワークショップ		
												その他の市民活動団体		・各団体を通じた普及拡大及び市民への普及拡大策に対する新たな提言と実践	企画提案	共催・協賛	市民モニター
															ワークショップ		
												所管法人・団体		・各団体を通じた普及拡大及び市民への普及拡大策に対する新たな提言と実践	企画提案	共催・協賛	市民モニター
															ワークショップ		
関係法人・団体		・各団体を通じた普及拡大及び市民への普及拡大策に対する新たな提言と実践	企画提案	共催・協賛	市民モニター												
			ワークショップ														
民間企業	とよたエコライフ倶楽部 トヨタ生活協同組合 等	・各団体を通じた普及拡大及び市民への普及拡大策に対する新たな提言と実践	企画提案	共催・協賛	市民モニター												
			ワークショップ														
AJ02	都市整備部	交通政策課	127	ユニバーサルマップ作成事業	中心市街地を対象に市民から見たユニバーサルマップ作成を通じて市民リーダーの育成と市民参画手法の検討を行う。	ワークショップによるユニバーサルマップの作成	継続	20	市民	ワークショップを通じた市民リーダー意識の向上	ワークショップ	ボランティア	満足度調査				

所属コード	部局名	所属名	NO	事業名	事業目的	事業概要	事業期間		共働相手		共働相手の特長・持ち味 (相手に期待する効果・役割)	共働の段階と手法		
							新規 継続	終了 年度	共働相手の種 別	団体・法人名 (共働相手が団体・法人の場合)		P	D	C
AJ02	都市整備部	交通政策課	128	バスマップ作成事業	公共交通の利用促進	基幹バスや地域バスの路線とともに、市内の主要な公共施設や観光施設等の情報を掲載したバスマップの作成	継続		市民		・利用者の視点によるマップへの意見 ・多角的な視点からの意見	ワーク ショップ		満足度調査
AJ04	都市整備部	都市再開発課	129	駅前通り南地区市街地再開発	多機能複合型施設の導入による昼夜間人口の拡大による中心市街地の活性化と交通環境及び都市防災機能の向上等による市街地の整備改善をすること	駅前通り南地区における市街地再開発事業の推進・支援	継続	20	地縁系組織	豊田市駅前通り南地区市街地再開発組合	・開発地区内の地権者等で構成される再開発組合で事業計画が検討されることで地区内に必要とされる導入施設や事業区域等を策定でき、また、早期の合意形成も可能	ワーク ショップ	補助金・ 負担金・ 助成	満足度調査
AJ04	都市整備部	都市再開発課	130	(仮) 駅前通り北地区市街地再開発	多機能複合型施設の導入による中心市街地の活性化と交通環境及び都市防災機能の向上等による市街地の整備改善をすること	駅前通り北地区における市街地再開発事業の推進・支援	継続		地縁系組織	豊田市駅前通り北街区まちづくり協議会	・開発地区内の地権者で構成される協議会で事業計画が検討されることで地区内に必要とされる導入施設や事業区域等を策定でき、また、早期の合意形成も可能	ワーク ショップ	補助金・ 負担金・ 助成	満足度調査
AK01	子ども部	次世代育成課	131	青少年センター再整備構想策定	豊田市青少年センターの再整備の検討にあたり、施設の機能提案等の意見を青少年から聴取し、その意見を反映することを目的とする	豊田市青少年センターの再整備の検討にあたり、公募による青少年ユース委員を募集し、ワークショップを実施する	新規	19	市民	公募による	概ね高校生から20歳代までの青少年（実際に施設を利用する年齢層の直接的な意見提案を期待できる）	ワーク ショップ	委託	事業評価 会議
AK01	子ども部	次世代育成課	132	子ども見守り隊業務	身近な地域で子どもの居場所づくりを通じて、青少年の健全な育成を育む	・子どもたちが安全に安心して遊べる場所の提供 ・子どもたちの遊びを見守る人材ネットワークの確保	継続		地縁系組織	老人クラブ 自治区 等	地域の中で、顔見知りの大人たち。 子育て経験を持つ、保護者世代から老人クラブの高齢者までの多世代交流	住民説明 会	委託	満足度調査
AK02	子ども部	子ども家庭課	133	おめでとう訪問事業	育児不安の高い時期に子育て家庭を訪問し、不安の軽減、育児の孤立化防止を図り、地域の子育て互助機能を再構築する。	生後1から3ヶ月児を養育している家庭を母子保健推進員が訪問し、情報誌を配布しながら地域の社会資源を紹介したり、子育ての悩みを聞く。	継続		その他の市民 活動団体	豊田市母子保健推進員の会	市が行う研修を経て母子保健推進員として活動している。 子育て経験を活かし、母子保健事業の協力や地域で育児の相談や支援を気軽にきける存在として活躍している。	検討委員 会	委託	満足度調査

所属コード	部局名	所属名	NO	事業名	事業目的	事業概要	事業期間		共働相手		共働相手の特長・持ち味 (相手に期待する効果・役割)	共働の段階と手法		
							新規 継続	終了 年度	共働相手の種 別	団体・法人名 (共働相手が団体・法人の場 合)		P	D	C
AK02	子ども 部	子ども 家庭課	134	すてきなパパ・ママ未来 体験学習	小中学生が、妊婦・乳幼児親子と ふれあう体験や、妊娠出産に関す る学習をすることで、将来自らが 親になった時の準備教育として実 施する。	中学校の授業において、妊婦疑似 体験・赤ちゃん抱っこ体験・パパ ママから育児体験談を聞き交流を 図る。実施に当たっては、地区の ボランティア・諸団体と交流を 持つて行う。	新規		市民	地域の保護者・民生委員・母子 保健推進員ほか、当日ボラン ティア 合計 172人/2名	1歳までの子どもを持つ親子は 中学生との交流を通して、親 としての自覚や自信が生ま れ、中学生は生命の大切さや 家族愛を感じ取る等の相乗効 果がある。	住民説明 会	ボラン ティア	満足度調 査
									地縁系組織	自治区 老人クラブ P T A 等	1歳までの子どもを持つ親子は 中学生との交流を通して、親 としての自覚や自信が生ま れ、中学生は生命の大切さや 家族愛を感じ取る等の相乗効 果がある。	住民説明 会	ボラン ティア	満足度調 査
AK02	子ども 部	子ども 家庭課	135	児童虐待防止教育【C A Pプログラム】	児童虐待の予防・早期発見・迅速 な対応により児童の心身の健全育 成を図る。	教育を希望する園や学校に対し て、県内の3団体に依頼し、ロール プレイを取り入れた参加型学習の 形で、子どもへの暴力防止・人権 教育プログラムを行う。	継続		その他の市民 活動団体	あいちC A P C A Pアルファ チャイルドサポート企画RECO	子どもの暴力防止のプログラ ムの普及啓発のために養成さ れたC A Pスペシャリストに よる教育を展開できる。	企画提案	その他	満足度調 査
AK03	子ども 部	保育課	136	市立保育園・幼稚園民間 移管事業	民間活力を導入し、多様化する保 育ニーズに対応する	公立園の運営を社会福祉法人又は 学校法人へ移管する	継続		所管法人・団 体	豊田市幼稚園・保育園保護者の 会(代表)	保護者の立場から移管法人の 選考を行う	審議会		
									関係法人・団 体	移管法人 ・社会福祉法人 ・学校法人	D：保育所又は幼稚園の運営 実績があり、多様な保育ニー ズに対応できるとともに、良 質な保育を提供できる C：県が実施する第三者評価 制度に基づき、提供される保 育の質について評価を行う		その他	その他
									市民	民間移管実施園保護者	市職員による訪問指導のほか 移管園の保育について直接意 見を聞く			満足度調 査
BA01	消防本 部	(消) 庶務課	137	消防団員確保事業	消防団員のいない自治区内の消防 団員を確保し、地域防災体制の強 化を図る。	消防団員のいない自治区内で地区 懇談会等を開催し、団員の確保を 図る。	新規	29	地縁系組織	自治区	自治区長をはじめ自治区役員 や消防団O Bから積極的に入 団要請できる。	地区懇談 会		
												検討委員 会		

所属コード	部局名	所属名	NO	事業名	事業目的	事業概要	事業期間		共働相手		共働相手の特長・持ち味 (相手に期待する効果・役割)	共働の段階と手法			
							新規 継続	終了 年度	共働相手の種 別	団体・法人名 (共働相手が団体・法人の場 合)		P	D	C	
BA01	消防本部	(消)庶務課	138	事業所による災害時の支援協力	災害発生時に、事業所と住民が協力して、人命救助や被害を最小限に食い止める。	協力事業所を選定し、災害活動の技術指導を行う。	新規		民間企業		地域に密着している専門性がある。	企画提案	ボランティア		
												検討委員会			
BA03	消防本部	予防課	139	消防フェスタ	市民が消防を理解し、防災意識を高める。	火災予防の重要性と防災意識を楽しみながら高めることのできるイベントを開催する。	継続		地縁系組織	消防団 婦人消防クラブ	地域防災、自衛消防組織及び家庭防火の担い手として、広く消防についてPRできる。	検討委員会	共催・協賛	満足度調査	
										関係法人・団体	防火危険物安全協会	地域防災、自衛消防組織及び家庭防火の担い手として、広く消防についてPRできる。	検討委員会	共催・協賛	満足度調査
BA03	消防本部	予防課	140	住宅用火災警報器設置支援	住宅火災発生時に逃げ遅れで亡くなる後期高齢者の低減を図る。	後期高齢者世帯の住宅に市が住宅用火災警報器を購入し、取付けを行う。	新規	19	地縁系組織	消防団 婦人消防クラブ	地域に精通している。	検討委員会	共催・協賛	満足度調査	
													ボランティア		
BA05	消防本部	警防救急課	141	救命講習会	心肺蘇生法を市民に普及し、救命率の向上を図る。	市民を対象に講習会で指導できる人や事業所等で心肺蘇生法の普及できる人を育成する。	継続		市民	事業所内の有資格者 公募による一般市民 等	意欲のある市民や有資格者による積極的な普及と技術の向上	検討委員会	ボランティア	満足度調査	
										民間企業	有資格者所属事業所	意欲のある市民や有資格者による積極的な普及と技術の向上	検討委員会	委託	満足度調査
CA01	上下水道局	水道総務課	142	水道災害対策(応急給水)訓練	災害時の飲料水確保のため、応急給水施設を利用し職員の操作方法・手順の確認と近隣自治区との連携により、迅速な応急給水活動の実践力向上を身につけること。	避難場所である学校敷地内等に設置した県水応急給水支援設備を利用して応急給水訓練を実施。	継続		市民	近隣自治区関係者 学校職員(先生) 避難場所担当市職員	災害時には、避難場所で応急給水活動の連携が図れる。	その他			

所属コード	部局名	所属名	NO	事業名	事業目的	事業概要	事業期間		共働相手		共働相手の特長・持ち味 (相手に期待する効果・役割)	共働の段階と手法		
							新規 継続	終了 年度	共働相手の種 別	団体・法人名 (共働相手が団体・法人の場 合)		P	D	C
CA01	上下水道局	水道総務課	143	水道週間行事「親子水道写生大会」	水道事業の広報活動を理解してもらおう。	親子水道写生大会に連携協力してもらい、独自にゲームを実施。	継続		関係法人・団体	豊田市管工事業協同組合 青年部	水道事業についての理解がある。	その他		
CA01	上下水道局	水道総務課	144	水道週間行事「水道フェスタ2007」	水道事業の広報活動を理解してもらおう。	「水道フェスタ」に連携協力してもらい、独自にゲームを実施。	継続		関係法人・団体	豊田市管工事業協同組合 青年部	水道事業についての理解がある。	その他		
CA06	上下水道局	下水道管理課	145	浄化槽維持管理促進事業	公共用水域の水質を守るため、浄化槽の適正な維持管理が行われるようにすること。	浄化槽の法定検査、保守点検、清掃が適切に行われるよう、自治区等が主体となって啓発活動を実施。	継続		地縁系組織	自治区	自治区等に啓発活動の主体となってもらうことで、当該自治区の住民に対して浄化槽の適正管理に関する認識を深めてもらいやすくなる。	住民説明会	補助金・負担金・助成	
CA06	上下水道局	下水道管理課	146	合併処理浄化槽整備事業	合併処理浄化槽の設置促進により、生活雑排水による公共用水域の水質汚濁防止を図ること。	自治区等を単位として計画的に合併処理浄化槽を整備する「集落促進事業（＝個人設置よりも補助金額が高い）」ことを促すための補助金。合併処理浄化槽の設置及び、水道水源保全基金を活用した水源地区における合併処理浄化槽への転換を促進。	継続		地縁系組織	自治区	自治区等に説明会の周知をしてもらうことで、説明会への参加人数が増える。	住民説明会	補助金・負担金・助成	
CA07	上下水道局	下水道建設課	147	市街化調整区域の下水道整備事業（第二次下水道整備実施計画）	市街化調整区域の下水道整備を推進し、水環境を保全すること。	市街化調整区域に下水道を整備し、整備後の接続を促進。	新規	34	地縁系組織	自治区の代表者等による委員会	自治区の代表者等による委員会を立ち上げ、区民の接続に関する同意書を取りまとめてもらうことで、下水道接続率の向上につながる。また、下水道に関する地域の一体感が醸成されることから、水環境の改善を早期に達成できる。	検討委員会	実行委員会	その他
CA07	上下水道局	下水道建設課	148	足助地区特定環境保全公共下水道事業	足助地区の下水道整備を推進し、水環境を保全すること。	足助地区に下水道を整備し、整備後の接続を促進。	新規	24	地縁系組織	自治区の代表者等による委員会	自治区の代表者等による委員会を立ち上げ、下水道に関する認識を深めてもらうことで、接続率の向上につながる。また、下水道に関する地域の一体感が醸成されることから、水環境の改善を早期に達成できる。	検討委員会	実行委員会	その他
												住民説明会		

所属コード	部局名	所属名	NO	事業名	事業目的	事業概要	事業期間		共働相手		共働相手の特長・持ち味 (相手に期待する効果・役割)	共働の段階と手法		
							新規 継続	終了 年度	共働相手の種 別	団体・法人名 (共働相手が団体・法人の場合)		P	D	C
DA02	教育委員会	学校教育課	149	学校アドバイザー設置による「開かれた学校づくり」推進事業	校長が必要に応じて地域の人々から学校運営に関する意見を聞いたり、学校の状況説明をするなど地域に開かれた学校づくりを推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・教育に関する理解・識見を有する者のうちから、校長の推薦により教育委員会がアドバイザーを委嘱する（19年度は全小中養護学校で実施。1校あたり平均7名）。 ・アドバイザーは校長の求めに応じて、学校運営に関して意見を述べる。 	継続		所管法人・団体	地域教育懇談会 (学校ごとに設置)	地域住民（会社員、自営業者、農業者、学生、主婦、区長、民生児童委員、保護司、PTA役員、子ども会役員、学校関係者等）の意見を学校経営に活かし、地域に開かれた特色ある学校づくりを推進できる。	地区懇談会		事業評価会議
									市民	校長の推薦による	地域住民（会社員、自営業者、農業者、学生、主婦、区長、民生児童委員、保護司、PTA役員、子ども会役員、学校関係者等）の意見を学校経営に活かし、地域に開かれた特色ある学校づくりを推進できる。		ボランティア	
DA02	教育委員会	学校教育課	150	地域で守る通学路づくり	児童・生徒の通学路上の安全を確保し、事故防止に努める。	学校、地元自治区（区長）、交通安全推進協議会で通学路の整備要望箇所を検討し、教育委員会（学校教育課）へ整備要望書を提出する。	継続		所管法人・団体	交通安全推進協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・地域で通学路上の危険箇所を積極的に取り上げ、優先性を高めて整備の検討・実施ができる。 ・地域で子どもたちの安全を守ろうという意識の向上を図ることができる。 	アンケート調査	ボランティア	その他
									地縁系組織	地元自治区（区長）	<ul style="list-style-type: none"> ・地域で通学路上の危険箇所を積極的に取り上げ、優先性を高めて整備の検討・実施ができる。 ・地域で子どもたちの安全を守ろうという意識の向上を図ることができる。 	アンケート調査	ボランティア	その他
DA02020	教育委員会	青少年相談センター	151	青少年の非行化防止	青少年の非行化防止を目的とする。	学校、地域、関係機関と連携しながら、街頭補導活動、環境浄化活動、啓発活動を行う。	継続		市民	<ul style="list-style-type: none"> ・地区補導員115名（コミュニティ会議推薦） ・教員補導員118名（生徒指導主事・主任） ・公募補導員14名等 	関係機関と連携し、被害の状況把握・未然防止に努めている。	検討委員会	補助金・負担金・助成	事業評価会議
DA03	教育委員会	保健給食課	152	地産地食推進事業	地場農産物を給食に使用することにより、地域農業への関心を高め食の大切さ、作る人への感謝の気持ちを育む	<ul style="list-style-type: none"> ・地場農産物を給食の食材として使用する ・食材の使用にあわせ、生産者を給食に招待し、野菜作りの話を聞きながら会食する。 ・収穫作業の体験 	継続		その他の市民活動団体	竹下野菜塾	高齢者による安心・安全な給食材料の提供と子どもたちの農業体験の支援	企画提案	その他	その他
DA05	教育委員会	文化振興課	153	文化施設管理事業（3施設）	文化施設の適正管理	視聴覚ライブラリー、市民文化会館、コンサートホール・能楽堂の施設管理	継続		所管法人・団体	(財)豊田市文化振興財団	住民サービスの向上、コスト削減		指定管理	

所属コード	部局名	所属名	NO	事業名	事業目的	事業概要	事業期間		共働相手		共働相手の特長・持ち味 (相手に期待する効果・役割)	共働の段階と手法		
							新規 継続	終了 年度	共働相手の種 別	団体・法人名 (共働相手が団体・法人の場 合)		P	D	C
DA05	教育委員会	文化振興課	154	文化フォーラム開催事業	時代に即した視点で豊田の生活・文化をとらえ、豊田の文化をとよたのまちびとと考へ、行動し、ともに豊かさ・楽しさを共有する機会を創出する	とよたまちびと講、文化塾の開催	継続		その他の市民活動団体	豊田文化フォーラム	市民の発想による文化事業の企画・運営を実施することにより、行政主導型でなく新しい視点での文化事業の展開	検討委員会	補助金・負担金・助成	
DA05	教育委員会	文化振興課	155	(仮)市民交流・文化創造センター整備事業	多様な市民活動、文化創造の場、交流の拠点として、複合的な施設整備を行う	H19 基本構想、基本計画策定 H20 基本設計 H21 実施設計 H22 整備工事 H23 整備工事 H24 供用開始	新規	23	市民	公募による	市民ニーズの把握と市民意見の反映	ワークショップ パブリックコメント		
DA09	教育委員会	文化財課	156	豊田の棒の手県指定50周年記念事業	県の民俗文化財に指定された50年目を迎えたことを記念する事業。各地区保存会の交流を図ることにより、豊田市を代表する伝統芸能である棒の手の保存・継承を目指す。	猿投神社への大規模な献馬と演技大会の実施。 50周年記念誌の刊行。	継続	19	所管法人・団体	豊田の棒の手県指定50周年記念事業実行委員会	各棒の手保存会の代表者からなる委員会を立ち上げることで、市内23団体の棒の手保存会を巻き込み、参加者の輪を広げることができる。知識・経験を活かして、事業を進めることができる。		実行委員会	
DA09	教育委員会	文化財課	157	農村歌舞伎合同公演	豊田市を代表する伝統芸能である歌舞伎の保存会の合同公演を行うことにより、保存・継承と活動の充実を図り、あわせて市指定文化財である岩倉神社農村舞台の活用を図る。	4つの保存会による合同公演の実施	新規	19	その他の市民活動団体	豊田市農村歌舞伎連絡協議会	知識・経験を活かして事業を進めることができる。		補助金・負担金・助成	
DA09	教育委員会	文化財課	158	史跡・天然記念物管理(4箇所)	指定史跡・天然記念物の維持管理を行い、訪れる人が快適に見学できるようにする。	草刈り ゴミ拾い 見学者対応	継続		地縁系組織	大内自治区 寺部豊寿会 山中自治区 親王町老人クラブ	地元の歴史財産を自分たちで維持管理していくことにより、地元住民の間に文化財保護意識をはぐくむことができる。		委託	
DA09	教育委員会	文化財課	159	松平郷館管理運営	松平郷館を訪れる人が快適に見学できるように、施設の維持管理を行う。	清掃 受付 見学者対応	継続		地縁系組織	松平郷ふるさとづくり委員会	地元の歴史財産を自分たちで維持管理していくことにより、地元住民の間に文化財保護意識をはぐくむことができる。		委託	

所属コード	部局名	所属名	NO	事業名	事業目的	事業概要	事業期間		共働相手		共働相手の特長・持ち味 (相手に期待する効果・役割)	共働の段階と手法		
							新規 継続	終了 年度	共働相手の種 別	団体・法人名 (共働相手が団体・法人の場 合)		P	D	C
DA09	教育委員会	文化財課	160	平戸橋さくら祭り	さくらの景勝地勘八峡において文化芸能ほか各種イベントを催し、市民に憩いと楽しさを提供する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ポスター掲示、チラシ配布 ・式典、各種文化展示会 ・野外演奏会、写生大会 ・食品バザー、茶会 ・体験講座、自然観察会ほか 	継続		所管法人・団体	平戸橋さくら祭り実行委員会(事務局) ・豊田市民芸館 ・平戸橋いこいの家 ・豊田市生涯学習センター猿投台交流館	この地域で文化活動を展開する諸団体と共働することによって、より多彩なプログラムが広がり、盛大かつ楽しいさくら祭りを催すことができる。		実行委員会	事業評価会議
									地縁系組織	<ul style="list-style-type: none"> ・猿投台地区コミュニティ会議 ・前田公園愛護会 ・豊田市民芸館友の会ほか 		この地域で文化活動を展開する諸団体と共働することによって、より多彩なプログラムが広がり、盛大かつ楽しいさくら祭りを催すことができる。		共催・協賛
DA09	教育委員会	文化財課	161	民俗芸能祭・月見の会	<ul style="list-style-type: none"> ・市内の伝統芸能の発表の場を設け伝統芸能の普及・保存・啓発に寄与する。 ・自然と四季を感じながら、日本伝統文化を楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> (民俗芸能祭) ・豊田市民俗芸能保存発表会(月見の会) ・野外演奏会(共通) ・各種展示会 ・講座作品、食品バザー ・講座体験コーナーほか 	継続		その他の市民活動団体	豊田市民芸館友の会	<ul style="list-style-type: none"> ・日本伝統文化への関心も高く、文化イベントに対する積極的な参画が得られる。 ・ボランティア活動により多彩かつ情緒ある月見の会が行われる。 		補助金・負担金・助成	事業評価会議
DA06	教育委員会	スポーツ課	162	地区総合型スポーツクラブ育成支援事業(14地区)	身近な生活圏である中学校区において、学校体育施設や公共スポーツ施設を拠点としながら、地域住民の誰もが参加できスポーツに親しめる地区総合型スポーツクラブが定着するよう育成支援する。	補助金交付、活動のための拠点施設の整備、クラブマネージャー研修会の実施	継続		地縁系組織	地区総合型スポーツクラブ	地区コミュニティ会議、自治区役員、体育指導委員等地域の代表者が設立に向けて何回もの会合を経て意見を集約することにより、地域のスポーツクラブという意識が醸成できる。また、地域の特色を活かしたメニューの設定や、世代を超えた地域住民の交流の場所となり、街づくりの拠点施設としての機能を持つことも可能。	検討委員会	補助金・負担金・助成	
				特定非営利活動法人					NPO法人美里スポーツクラブ	検討委員会		補助金・負担金・助成		
DA06	教育委員会	スポーツ課	163	ふれあいウォーク in豊田	誰もが気軽に参加できるウォーキングを通して健康に対する意識を高め、一緒に歩くことによる市民同士の交流、ふれあいを図る。	ウォーキング大会の実施	継続		関係法人・団体	<ul style="list-style-type: none"> 豊田ライオンズクラブ トヨタユニオンボランティア 豊田市レクリエーション指導者クラブ 豊田市体育指導員協議会 豊田市ウォーキング協会 	各団体、関係者を巻き込むことで参加の輪が広がる。団体の長所・特性を活かすことで、多様なプログラムを実施できる。		実行委員会	補助金・負担金・助成

所属コード	部局名	所属名	NO	事業名	事業目的	事業概要	事業期間		共働相手		共働相手の特長・持ち味 (相手に期待する効果・役割)	共働の段階と手法		
							新規 継続	終了 年度	共働相手の種 別	団体・法人名 (共働相手が団体・法人の場 合)		P	D	C
DA06	教育委員会	スポーツ課	164	スポーツ施設維持管理事業	市民の健康づくりやスポーツ活動の拠点施設として施設を適正に管理し効果的な管理運営と有効活用を図る。	体育館、野球場、テニスコート、マレットゴルフ場等スポーツ施設を始めとする施設運営管理	新規		地縁系組織	かみごうスポーツクラブ 石野コミュニティ会議 いさとスポーツクラブ(19年度～)	地域施設としての意識を高め、地域の特性を活かした運営が期待できる。		指定管理	
						体育館、野球場、テニスコート、マレットゴルフ場等スポーツ施設を始めとする施設運営管理	新規		特定非営利活動法人	美里スポーツクラブ	地域施設としての意識を高め、地域の特性を活かした運営が期待できる。		指定管理	
						体育館、野球場、テニスコート、マレットゴルフ場等スポーツ施設を始めとする施設運営管理	継続		所管法人・団体	豊田市体育協会 豊田市文化振興財団 ㈱豊田スタジアム	関係諸団体との円滑な連携調整が可能。		指定管理	
						体育館、野球場、テニスコート、マレットゴルフ場等スポーツ施設を始めとする施設運営管理、清掃・除草・貸出管理業務	継続		所管法人・団体	豊田市体育協会 豊田市ボート協会	地域施設としての意識を高め、地域の特性を活かした運営が期待できる。		委託	
						体育館、野球場、テニスコート、マレットゴルフ場等スポーツ施設を始めとする施設運営管理、清掃・除草・貸出管理業務	継続		地縁系組織	大内自治区 河合池運動広場管理委員会 四郷マレットゴルフ場管理委員会 保見マレットゴルフ場管理委員会 いさとスポーツクラブ(19年度～)	地域施設としての意識を高め、地域の特性を活かした運営が期待できる。		委託	
						2005年に開催された「愛・地球博」のテーマ『自然の叡智』の理念を継承し、心のこもった夢あふれる絵本を通じて、次世代を担う子どもたちに、21世紀に生きるためのメッセージを残していくことを目的とする。	継続		所管法人・団体	とよた絵本コンクール実行委員会	絵本作り・読み聞かせ・子ども図書室に関わる方の集まりで、各々のグループ関係者を巻き込みPRすることで、応募者の増加につながる。		実行委員会	
DA07	教育委員会	図書館	166	録音図書・点字図書の製作	視覚障がい者など、活字による読書が困難な方の「図書権」を補償するため、録音(テープ・CD)・点字による図書を提供すること。	録音図書(テープ・CD)の音訳製作。 CDの編集。 対面朗読サービスの実施。 点字図書の製作。点字データの製作。 おたよりの点字製作。	継続		市民	公募による	録音図書や点字図書の製作には、長期の技術習得期間と高度な専門的技術が必要であり、利用者からの要望、より質の高い資料の提供ためには協力が必要不可欠である。		ボランティア	

所属コード	部局名	所属名	NO	事業名	事業目的	事業概要	事業期間		共働相手		共働相手の特長・持ち味 (相手に期待する効果・役割)	共働の段階と手法		
							新規 継続	終了 年度	共働相手の種別	団体・法人名 (共働相手が団体・法人の場合)		P	D	C
DA07	教育委員会	図書館	167	定期開催のおはなし会	読書の楽しさを伝え、読書習慣の形成を図ること。 ①あかちゃんと保護者向け ②ひとりでは、字を読むことのできない幼児向け ③子ども全般	①ちいさい子のおはなし会 毎週木曜午前11時～ ②おはなし会 毎週土曜・日曜午後2時半～ 夏休み・春休み中は、毎日 ③本を楽しむ会 毎週日曜午後3時～ ※児童コーナーおはなし室で開催	継続		その他の市民活動団体	豊田お話グループ連絡会および読み聞かせグループ	子ども読書活動実績が10年以上あり、平成16年度には文部科学大臣表彰を受賞。		ボランティア	
DA07	教育委員会	図書館	168	夏・冬休みにおけるおはなし会(年4回)	読み聞かせの楽しさを、親子に伝える機会を作り、家庭における読み聞かせ習慣の定着を図る。	夏休みおはなしフェスティバル(夏休み中に2回) クリスマスおはなし会(冬休み中に1回) お正月おはなし会(冬休み中に1回)	継続		その他の市民活動団体	豊田お話グループ連絡会および読み聞かせグループ	子ども読書活動実績が10年以上あり、平成16年度には文部科学大臣表彰を受賞。		ボランティア	
DA08	教育委員会	美術館	169	作品ガイドボランティア(美術館)	美術館の教育・普及活動を支援、活性化していくため、来館者と対話しながら展示室を巡り、作品への理解を深める手助けをする。	ギャラリー・ツアーの開催(木曜日を除く毎日)。 ガイドを希望する団体の対応。 美術館学習のための事前出張事業。	継続		市民	公募による	利用者に近い目線で対話することにより市民の美術へ感心を高めることができる。		ボランティア	

政策等の形成過程・評価段階における取り組み（21事業）

・(直接的な)実施段階を持たない事業(例:計画策定 など)においては、形成過程・評価段階で、市民参画の手法を取り入れることにより、市民ニーズを的確に捉えた政策になるよう、努めています。

所属コード	部局名	所属名	NO	事業名	事業目的	事業概要	事業期間		共働相手		共働相手の特長・持ち味 (相手に期待する効果・役割)	共働の段階と手法		
							新規 継続	終了 年度	共働相手の種 別	団体・法人名 (共働相手が団体・法人の場 合)		P	D	C
AD06	社会部	旭支所	1	旭高原再生計画作成事業	旭高原各施設の老朽化に伴う施設整備及び旭地区の観光のキーステーションづくり	明確なコンセプトを持つ旭高原の整備計画の作成	新規		市民	ワークショップ参加市民 ・旅館 ・建設業 ・商工会 ・地元有識者(自立のための 道具の会本部長) ・星の専門家 ・昆虫の専門家	各階層からの意見の集約	ワーク ショップ		
AD07	社会部	足助支所	2	飯盛山整備計画策定事業	100年後もモミジの美しい「香嵐渓」があり続けるため、中核を担う飯盛山の整備計画を策定する	整備検討委員会を設置し、現地調査等を実施。樹木調査診断結果も参考にしながら整備計画を策定する	継続	24	所管法人・団体	飯盛山整備検討会議 ・学識経験者 ・地元関係者		検討委員 会		
AD09	社会部	小原支所	3	小原の安心・安全・快適プラン	「共働によるまちづくり」を住民主体で実施するための意識付けを行う。	小原地区12自治区がそれぞれにワークショップを行い、安心、安全、快適というキーワードで地域の点検を行い、旧小原4小学校単位で「安心・安全・快適プラン」を作成。住民が自ら実施できること(すべきこと)は自治区で行い、行政がすべきことについては、支所が窓口になり関係課に情報を繋ぎ、共働する部分はお互いに実践する。	新規		地縁系組織	自治区	新市体制の中で住民の自立意識の醸成及び住民の結びつきの維持・強化	ワーク ショップ		
AD12	社会部	下山支所	4	下山地域まちづくり構想の策定	豊田・岡崎地区研究開発施設事業計画が下山地域に及ぼす効果・影響を様々な角度から検証し、これを活かした各分野のまちづくり方策及び下山地区の将来像を明らかにする。	地域住民の意向を踏まえた、地域活性化の方向性や重点的なプロジェクト案に関する主体的な協議を行い、それに基づき、地域住民・行政双方により「下山地域まちづくり構想(案)」として取りまとめる。	新規		地縁系組織	下山地域まちづくり推進協議会 ・地域住民の代表	・地域住民の代表をメンバーとし、各団体・関係者を巻き込むことで、地域づくりへの輪が広がる。 ・地域住民の意向を踏まえて、住民が主体的に取りまとめていくことで、自分達のまちづくりは自分達の手で進めていこうとの意識を醸成でき	検討委員 会	住民説明 会	企画提案
AD12	社会部	下山支所	5	香恋の里しもやま観光整備計画の策定	農山村の地域性を活かした様々な観光交流の機会を提供して魅力ある地域づくりを推進し、「立ち寄り型から滞在型」の観光地を目指すための方策を明らかにする。	地域の方向性や地域の想いを把握し活かすため、関係団体からのメンバーによるワークショップによって意見集約を行い、下山地域の観光整備プラン(案)として取りまとめるとともに、地域会議・まちづくり推進協議会等からも意見聴取する。	新規		関係法人・団体	・商工会 ・観光協会 ・農協 ・森林組合 等	・計画段階から関係団体の意見集約を行い、地域づくりの計画に主体性を持って関わってもらうことにより、地域の将来的な発展を見据えて、積極的に関わり携わっていかうとの意識を醸成できる。	ワーク ショップ	企画提案	
								地縁系組織	・地域会議 ・まちづくり推進協議会 等	・計画段階から関係団体の意見集約を行い、地域づくりの計画に主体性を持って関わってもらうことにより、地域の将来的な発展を見据えて、積極的に関わり携わっていかうとの意識を醸成できる。	ヒアリン グ調査	企画提案		

所属コード	部局名	所属名	NO	事業名	事業目的	事業概要	事業期間		共働相手		共働相手の特長・持ち味 (相手に期待する効果・役割)	共働の段階と手法		
							新規 継続	終了 年度	共働相手の種 別	団体・法人名 (共働相手が団体・法人の場 合)		P	D	C
AD15	社会部	藤岡支所	6	藤岡観光交流重点プロジェクト実施計画策定事業	藤岡地区のまちづくりを観光面から捉えた計画策定を行う。	豊田市観光交流基本計画に基づき、藤岡地区として、花回廊ルート、緑化センター・昭和の森の集客力を活用した地域観光計画を地域住民とワークショップ等を開催し策定する。	新規	19	所管法人・団体	重点プロジェクト実施計画検討会	藤岡観光協会を事務局として、地域活動団体、商工会を巻き込み、支所とコンサルタント業者で情報提供を行い意見のとりまとめを行う。関係住民と検討することで、地域の活動状況を更に発展させた計画策定が出来る。	ワークショップ		
AD17	社会部	生涯学習課	7	生涯学習に関する各種審議	市民一人ひとりが、地域において、生涯にわたっていつでも事由に学び、学んだことを地域や社会に生かし、豊かな市民生活を築くことができる社会の構築を目指す。	・委員は16名、任期は2年 ・委員会は年4回程度開催 ・生涯学習の課題等についての審議、提案	継続		所管法人・団体	生涯学習審議会 社会教育委員 ・学識経験者 ・地縁系組織 ・市民活動団体 ・所管団体 ・市民	・委員それぞれの立場、視点からの意見、提案 ・地域・所属団体等の状況についての情報提供	審議会		
AD17	社会部	生涯学習課	8	交流館運営に関する各種審議	市民等に開かれた交流館運営、地域の実情に応じた特色ある交流館運営のため。	交流館ごとに運営委員会を設置 ・委員は10名程度、任期は1年 ・委員会は年4回程度開催 ・講座、事業等交流館の管理運営全般に関して協議	継続		所管法人・団体	交流館運営委員会 ・地縁系組織 ・社会教育関係団体 ・市民活動団体 ・交流館利用者 ・学校、幼保 ・学識経験者 ・民間企業	・それぞれの立場、視点からの交流館運営への意見、提案 ・地域・所属団体等の状況についての情報提供 ・交流館講座、事業への協力	検討委員会		
AD17	社会部	生涯学習課	9	生きがづくり推進に関する各種審議	高齢者の社会参加・生きがい活動等への支援施策の展開を図るため、生きがづくり行動推進プランの進捗管理等についての審議・意見交換を行う。	開催回数 全体会4回 小委員会2回程度 構成員 市民公募3名 学識経験者1名 団体代表10名	継続		所管法人・団体	生きがづくり推進会議 ・学識経験者 ・関係法人 ・団体代表者 ・市民	市民公募の委員、各種団体の代表者等で構成されており、様々な角度から、意見交換・審議が出来る。	審議会		
AD17030	社会部	男女共同参画センター	10	男女共同参画推進(クローバープラン推進)に関する懇談提言	クローバープラン推進のために、意見提言をいただき効果的な事業推進を目的とする。	年4回開催	継続		所管法人・団体	男女共同参画推進懇話会 ・学識経験者 ・女性団体 ・まちづくり関係団体 ・企業関係者 ・教育関係者 ・公募委員	幅広い層からなる委員からの意見によりプラン推進を効果的に進めることができる	審議会		
AD17031	社会部	男女共同参画センター	11	DVに関する意識調査	配偶者からの暴力の意識と実態を把握し今後取組むべき支援策の検討を実施することを目的とする	調査対象：市内在住20歳以上の男女各1,500人 調査方法：郵送自己記入式 調査期間：19年8月	新規	19	市民	無作為抽出による		アンケート調査		

所属コード	部局名	所属名	NO	事業名	事業目的	事業概要	事業期間		共働相手		共働相手の特長・持ち味 (相手に期待する効果・役割)	共働の段階と手法		
							新規 継続	終了 年度	共働相手の種 別	団体・法人名 (共働相手が団体・法人の場 合)		P	D	C
AD17030	社会部	男女共同参画センター	12	子どもの男女共同参画に関する意識調査	子どもの男女共同参画意識を把握し学校における男女共同参画教育の施策を検討することを目的とする	調査対象：市内小・中・高生各1,000人 調査方法：各学校を通して調査票を配布、配布後その場で記入、回収 調査期間：19年9月	新規	19	市民	無作為抽出による		アンケート調査		
AD17030	社会部	男女共同参画センター	13	(男女共同参画推進に関する)事業主担当者との連絡調整・意見交換	男女共同参画推進のため、事業主との情報交換、連絡調整を行い、支援策を検討することを目的とする		継続		所管法人・団体	事業主担当者会議 ・民間企業の担当者	男女共同参画推進のための支援策検討を民間企業の事業主からの意見により効果的に進めることができる	審議会		
AD17030	社会部	男女共同参画センター	14	男女共同参画推進に関する懇談提言	豊田市の男女共同参画社会作り推進への意見・提言	年2回開催	継続		所管法人・団体	豊田市各種女性団体懇談会 ・各種女性団体	市内で活動している女性団体の意見により男女共同参画推進効果的に進めることができる。	審議会		
CA01	上下水道局	水道総務課	15	水道事業に関する必要な調査及び審議	水道料金等使用者に直接関わる料金・制度改正に関する審議・諮問・答申及び水道事業全般に関する意見を頂く。	年に1～5回程度開催し、事務局で用意した案件について調査や審議を実施。	継続		所管法人・団体	水道事業審議会 ・公共的団体の代表者 ・学識経験者 ・住民	会議において、水道使用者の立場での意見がもらえる。	審議会		
CA03	上下水道局	水道整備課	16	「豊田市水道ビジョン」の策定	水道経営の質の向上に努め、市民の皆さんの声に応えられるより良い水道サービスを提供する。	市民と水道事業者が水道の課題や施策の進捗状況を共有できるよう、4年毎に8つの施策目標値を設定して事業の評価を行う。	新規		市民	公募による	幅広く意見がもらえる。	パブリックコメント		
CA06	上下水道局	下水道管理課	17	下水道に関する必要な調査・審議事業	下水道使用料の料金体系の変更を始めとして、下水道事業を進めていく上での重要な意思決定に際し、学識経験者及び市民の意見を参考にすること。	年に1～5回程度開催し、事務局で用意した案件について調査や審議を実施。	継続		所管法人・団体	下水道事業審議会	学識経験者には、専門的立場からの意見。その他の委員については、市民感覚での意見。	審議会		

所属コード	部局名	所属名	NO	事業名	事業目的	事業概要	事業期間		共働相手		共働相手の特長・持ち味 (相手に期待する効果・役割)	共働の段階と手法		
							新規 継続	終了 年度	共働相手の種 別	団体・法人名 (共働相手が団体・法人の場 合)		P	D	C
DA02	教育委員会	学校教育課	18	地域社会における教育に関する各種審議	各中学校区に地域懇談会を組織し、地域の人々の意見を反映しつつ、地域の機関、団体、学校等が連携して、地域社会における教育の充実を図る。	市内全26地区に地域教育懇談会を設置し、地域社会における教育問題(防犯、安全、健全育成等)、学校の運営等について情報交換・協議を行う。	継続		所管法人・団体	地域教育懇談会 (学校ごとに設置)	地域住民(市議会議員、区長、民生児童委員、保護司、PTA役員、子ども会役員、学校・幼保関係者等)で連携して、地域全体で地域に応じた教育問題に取り組むことができる。	地区懇談会		事業評価会議
DA05	教育委員会	文化振興課	19	文化振興計画策定事業	豊田市の文化振興の進むべき基本的な理念や基本方針を策定する	計画期間をH20年度~H29年度として、文化振興の理念、基本方針、施策等をH19年度にまとめる	新規	19	市民	公募による	計画策定に際し、広い視野での市民意見の反映と市民ニーズの把握	検討委員会		
												ワークショップ		
												パブリックコメント		
DA08	教育委員会	美術館	20	美術館モニター	美術館を市民に親しまれ利用しやすい施設とするため、運営や管理について広く市民の意見を把握する。	平成18年度は4回の意見交換会とアンケートを実施。	継続		市民	公募による	美術の専門家ではない一般市民の意見を把握することにより、より親しみやすい美術館に近づけていくことができる。			市民モニター
DA08	教育委員会	美術館	21	美術館の運営に関する各種協議	より多くの感動を与え親しまれる美術館運営を目指し、展覧会の開催、美術文化の普及、来館者サービスの現状と課題について協議する。	平成18年度は3回の会議と1回の視察を実施。	継続		所管法人・団体	美術館運営協議会	公募市民、地元市民、学校関係者などで構成され、いろいろな角度から美術館運営を考え、様々な課題について協議することができる。	審議会		事業評価会議